

平成22年度 コンピュータセキュリティ早期警戒体制の整備事業

## 中小企業情報セキュリティ対策促進事業

### 実施報告書

平成23年3月31日

特定非営利活動法人  
日本ネットワークセキュリティ協会

## 目 次

第 1 章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要 .....	- 2 -
第 2 章 指導者育成セミナー開催概要.....	- 4 -
第 3 章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数 .....	- 5 -
第 4 章 指導者育成セミナープログラム.....	- 6 -
第 5 章 各地の開催状況(開催日程順) .....	- 7 -
第 6 章 セミナー実施状況.....	- 32 -
第 7 章 開催会場からの意見.....	- 41 -
第 8 章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見 .....	- 44 -
第 9 章 担当講師からの意見.....	- 52 -
第 10 章 地域での講習会の開催.....	- 53 -
第 11 章 まとめ.....	- 59 -

## 第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要

目的:

経済社会がグローバル化する今日、IT化の進展によって企業の生産性が飛躍的に向上し、国境を越えたサプライチェーンが高度化してきています。その一方で、インターネットを通じ、社内やグループ企業内のコンピュータ、ネットワーク、従業員の家庭のコンピュータから、企業情報の漏えい、個人情報流出などの事件・事故が相次いで発生しており、その内容も多様化する一方となっています。このような情報セキュリティに関する事件・事故は、利用者である顧客に重大な損害を与えるだけでなく、企業そのものに金銭的な不利益をもたらすとともに、社会的責任を問われ、企業としての信用・信頼を失うおそれがあります。

これまで、関係機関の理解と協力のもとに様々な事業を行うことで、我が国企業の情報セキュリティレベルは全体的に向上しつつありますが、企業規模別に見ると、中小企業における情報セキュリティ対策の取り組みは、大企業と比較して十分とは言えません。また、昨今、顧客から預かった大事な情報を、委託先の中小企業が漏えいしてしまう事故も発生していることから、中小企業の情報セキュリティレベルの向上を図ることが、我が国全体の情報セキュリティ水準の向上に必要不可欠です。

このような状況を踏まえ経済産業省からの委託を当協会が受け、日本商工会議所、全国商工会連合会及び特定非営利活動法人ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会の協力の下、中小企業の経営者等に対して、情報セキュリティ対策に係る意識を高めていただくことを目的とした中小企業情報セキュリティ対策促進事業を実施しました。

この事業は3年度目の事業であり、本事業の主旨と2年間で実施した成果と課題を反映して、中小企業に対して、情報セキュリティ対策の必要性への気づきを与え、企業に応じた対策を行ってもらうことを目的とした事業となっています。地域ごとの指導的立場の人材が情報セキュリティ対策の重要性と具体的対応を中小企業の経営者に直接指導することが、適切な情報セキュリティ対策実施のためには必要であることから、指導者の育成を中心とする施策を次のとおり実施しました。

- ・ 全国の商工会議所の職員、商工会職員、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々（地場の情報セキュリティベンダーなど）を対象とした指導者向けの情報セキュリティ研修「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を開催し、それにより各商工会議所の職員、商工会・都道府県中央会関係者等は、情報セキュリティ対策に関する中小企業からの質問に対応できるようにする。
- ・ 日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ等のITの専門家は、研修を受講することにより、IT利活用の支援等を実施する際に、併せて情報セキュリティ対策の必要性について「気づき」をもたらし、中小企業の情報セキュリティ対策の実施を導くことができるようにする。
- ・ さらに、受講者が地域で開催する講習会を支援することとし、セミナー教材や指導用ツールを無償で提供を行うとともに、「お近くの相談員」として、本促進事業ホームページに氏名を掲載する。
- ・ また、各商工会議所職員、商工会関係者、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々が、助言を求めることを可能とするコールセンターを、IPAの協力の下に設置する。

また、本事業の実施にあたり、有識者及び当協会会員企業を参加メンバーとしたワーキンググループを設置し、セミナーの企画・教材検討(テキスト・ビデオ)、講習会の開催方法についての検討会を計3回実施しました。

第1回会合 平成 22 年 8 月 6 日(金) 15 時～16 時 30 分

第2回会合 平成 22 年 10 月 5 日(火) 15 時～16 時 20 分

第3回会合 平成 23 年 3 月 16 日(水) 13 時 30 分～15 時 00 分

#### ワーキンググループリーダー

井上 陽一 NPO 日本ネットワークセキュリティ協会顧問・西日本支部長

#### ワーキンググループメンバー

塩野 裕	日本商工会議所 情報化推進部
松井 俊輔	全国商工会連合会 組織運営部 情報・能力開発課
栗原 孝之	全国中小企業団体中央会 調査部
岡 現	特定非営利活動法人 東京 IT コーディネータ
石井 茂	独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター
渡部 章	(株)アークン
元持 哲郎	アイネット・システムズ(株)
加藤 雅彦	(株)インターネットイニシアティブ
持田 啓司	(株)大塚商会
小屋 晋吾	トレンドマイクロ(株)
嶋倉 文裕	富士通関西中部ネットテック(株)
高橋 正和	マイクロソフト(株)
西本 逸郎	(株)ラック
乃田 昌幸	経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室
枝川 慶彦	経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室
島田 紀章	経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室

## 第2章 指導者育成セミナー開催概要

### 概要:

中小企業の情報セキュリティ対策レベルの向上を図るためには、中小企業のホームページ作成や IT 化の支援などを行ない、実際に中小企業のアドバイザー的な役割を担う人々に対して、情報セキュリティに関する知識習得の機会を提供し、中小企業の経営者などに対して、情報セキュリティ対策の必要性をアピールすることが重要であるとする。

そのため、経済産業省と NPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は、2008 年度から 2 年に渡り、地域での指導者育成を目的とした指導者育成セミナーを実施した。今年度は対象者を前年度の商工会議所職員や商工会職員、都道府県中央会職員などの中小企業支援を業務等で行っている方々、IT コーディネータ資格保持者や中小企業診断士だけでなく、情報セキュリティを指導する立場にある方々(地場の情報セキュリティベンダーなど)にも拡大し、多くの指導的立場にある方々に対して、情報セキュリティの知識習得と中小企業向け指導法習得を目的とした指導者育成セミナーを 2010 年 10 月から 翌 2 月末にかけて全国で開催した。

特に今年度は、演習を中心として知識習得よりも指導方法の習得や指導に関する支援に重きを置いたプログラムとした。

- 期間 : 2010 年 10 月 ~ 2011 年 2 月
- 開催数 : 全国各地 21 都道府県にて 25 回開催
- 主催 : 経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
- 後援 : 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、  
全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、  
開催地の商工会議所・県商工会連合会・NPO 法人
- 定員 : 各会場 50 名 ~ 100 名
- 参加対象 : 商工会議所関係者(商工会議所職員、日商マスター等)、商工会関係者、  
中小企業団体中央会関係者、IT コーディネータ、中小企業診断士、  
その他中小企業を指導する立場にある人(地場の情報セキュリティベンダーなど)  
IT コーディネータの受講者には、ITC 協会後援セミナーとして受講修了証を発  
行し、6.5 時間の知識ポイントを付与した。

### 第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時 会 場	参加者 総数(名)	掲載頁
北海道	北海道 (札幌商工会議所)	11月2日(火) 北海道経済センター	42	13
	北海道 (函館商工会議所/北海道中小企業団体中央会道南支部)	11月26日(金) 函館商工会議所	20	16
東北	青森 (八戸商工会議所/ 財団法人八戸地域高度技術振興センター)	2月2日(水) 八戸インテリジェントプラザ	28	25
	秋田 (秋田商工会議所)	2月18日(金) 秋田商工会議所	23	30
	宮城 (仙台商工会議所)	10月25日(月) 仙台商工会議所	47	11
	栃木 (宇都宮商工会議所)	2月8日(火) ホテルニューイタヤ	26	26
関東	埼玉 (さいたま商工会議所/NPO 法人ITプロ技術者機構)	1月24日(月) 大宮ソニックシティ	43	24
	東京(1) (東京商工会議所)	12月9日(木) 東京商工会議所ビル	84	19
	東京(2) (東京商工会議所)	2月15日(火) 東京商工会議所ビル	73	28
	神奈川(1) (神奈川県商工会議所連合会/神奈川県商工会連合会)	10月7日(木) 相鉄岩崎学園ビル	84	7
	神奈川(2) (神奈川県商工会議所連合会/神奈川県商工会連合会)	1月17日(月) 相鉄岩崎学園ビル	53	23
	長野 (松本商工会議所/社団法人長野県情報サービス振興協会)	2月10日(木) 松本商工会議所	39	27
	富山 (富山商工会議所/ 富山県中小企業団体中央会/富山県情報産業協会)	11月12日(金) 富山県総合情報センター	24	14
	愛知 (名古屋商工会議所/社団法人中部産業連盟)	10月21日(木) 中産連ビル	90	9
近畿	滋賀 (滋賀県商工会連合会)	10月28日(木) コラボしが21	30	12
	京都 (京都商工会議所)	2月25日(金) 京都商工会議所	51	31
	大阪(1) (大阪商工会議所)	11月30日(火) 大阪商工会議所	57	17
	大阪(2) (大阪商工会議所)	12月13日(月) 大阪商工会議所	60	20
	兵庫 (神戸商工会議所/NPO 法人 ITC 近畿会)	2月16日(水) 神戸市教育会館	37	29
中国	岡山 (岡山商工会議所)	11月17日(水) 岡山商工会議所	35	15
	広島 (広島商工会議所/NPO 法人 ITC 広島)	12月17日(金) 広島商工会議所	44	22
	徳島 (徳島県商工会連合会)	10月22日(金) あわぎんホール	21	10
九州	福岡 (福岡商工会議所)	10月13日(水) 福岡商工会議所	46	8
	大分 (大分商工会議所/NPO 法人大分 IT 経営推進センター)	12月16日(木) 大分商工会議所	32	21
沖縄	沖縄 (沖縄県商工会議所連合会/那覇商工会議所/ 財団法人沖縄県産業振興公社)	12月6日(月) 沖縄産業支援センター	31	18
		合 計	1,120	---

## 第4章 指導者育成セミナープログラム

情報セキュリティ対策について、中小企業でのリスクアセスメントと起こりうるインシデント対応を中心に、リスク発見と対策方法、インシデント発生時の対応方法に関して、指導者として知っておかねばならないことを主な内容として実施した。

午前は、中小企業の日常風景を題材とした演習ビデオにより、リスクアセスメントのリスク発見の中心としたグループ演習を実施。午後の前半では、午前の演習で発見したリスクに関して、対策方法をグループ討議する形とした。また、午後の後半では、実際にインシデントが発生した際の対応を体験してもらうために、インシデントレスポンス演習を実施。中小企業での事故対応を仮想体験することで、現場での指導を想定した臨場感を持った研修内容とした。

### 【タイムスケジュール】

#### (ア) 9:30～12:00(ビデオ演習[リスク発見演習]、オリエンテーション含む)

地方都市にある中小企業の日常の業務風景をビデオで視聴し、個人ごとに情報取扱い上の想定リスク洗い出しを実施。

ビデオは5つのセクションからなり、そのセクションごとに5名程度のグループで討議を行いながら、情報セキュリティ上の問題(リスク)を洗い出して発表を行った。

ビデオ教材「フラワー通りの7人の社長たち」の内容は、とある地方都市の印刷、製造、不動産、小売等の様々な業種が舞台となり、そこで繰り広げられる日常を描きながら情報セキュリティ上の問題(リスク)を提示するものとなっている。

本演習により、顕在化したリスクだけでなく、隠れたリスクまでを発見する基礎スキルを養った。

#### (イ) 13:00～14:50(ビデオ演習[対策検討演習])

リスク発見演習で想定されたリスクに対して、グループでその原因と対策案を検討し、グループごとに発表を行った。

発表後には想定されるリスクと対策案の一覧表を受講者に交付し、発表された意見以外の対策も講師から紹介するなど、中小企業の事業内容に沿って優先順位の考え方も含めて、適切な対策の助言及び指導が行えるように演習を行った。

#### (ウ) 15:00～17:00(インシデントレスポンス演習、講師講評含む)


インシデントレスポンスについての考え方とプロセスを理解してもらった後、封じ込めと事故後の対応の2回に分けて、事例を基にしたシミュレーション形式で、グループで討議しながら対応策を検討し発表した。

本演習により、通常では実体験が難しいインシデント対応を仮想体験してもらうことで、中小企業でのインシデント発生時の相談相手になるための必要スキルを与えるとともに、現実になった場合の問題を中小企業に伝えてもらい、対策の重要性を日頃から説いてもらうこととした。


### 【主な配布資料(指導者として利用するもの)】


- ・ ビデオ演習 DVD
- ・ 演習マニュアル(演習の基本的内容と、1日を通したスケジュール)
- ・ 指導用マニュアル(グリーン)
- ・ 講習用テキスト(オレンジ)
- ・ IPA「5分でできる! 中小企業のための情報セキュリティ自社診断」


## 第5章 各地の開催状況(開催日程順)


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー( 神奈川 1 )					
開催報告書					
日時	2010 年 10 月 7 日 (木) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	相鉄岩崎学園ビル 8 階 807 号室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	神奈川県商工会議所連合会・神奈川県商工会連合会 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	山田 英史、富田 一成			総参加者数	84 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	16 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	66 名	その他	18 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 島田 紀章 JNSA 持田、林、田所、竹内、小島				6 名
参加者の状況					
参加者は 84 名と非常に多数の参加があり、終了の時間まで活発に議論が交わされていた。特に IT コーディネータの参加者が多く、発表の内容もレベルの高いものであった。質疑応答では、講師のコメントに補足をするような参加者も見られた。					
開催地からのご意見					
今回のセミナー開催は、神奈川県商工会議所連合会様と神奈川県商工会連合会様に後援いただき、会場提供は株式会社岩崎学園殿にお願いをしたため、会場アンケートは岩崎学園の御担当者をお願いをした。中小企業の情報セキュリティ対策向上に必要なこととしては、経営層への啓発活動や教育と感じているようであった。また、ウイルス対策の意識の高まりからウイルス対策ソフトの更新には気を使うようにはなっているが、アプリケーションのバージョンアップにはまだまだ対応しきれておらず更なる意識の向上が必要と感じているようであった。横浜においても指導者は十分にはいないと感じており、今回のセミナーに参加ができなかった地域の指導者のために同会場でもう一度開催して欲しいとのご意見も頂戴した。					
全体の考察					
過去のセミナーに参加した参加者が 20 名もあり、継続して参加していただけるようなセミナー内容となってきたのではないかと考えられる。参加者の意見としては、多くの人と交流ができた点が非常に良かったというものが多く、地域での協力や連携などにつながっていくのではないかと考えられる。セミナー内容に関しては、午後のインシデントレスポンス演習の発表において、やや消極的な面も見られた。インシデントレスポンスというあまり経験のないロールプレイ形式の演習であったため、答えを出すことができない参加者や答えに自信を持ってない参加者が多かったのではないかと推測される。そのため、今回のセミナーで学んだことや感じたことを今後の指導力向上に役立ててもらえるのではないかと考えられる。また、多くの肯定的な意見の中で、「より小規模の企業をフォーカスすべき」や「もう少し規模の大きい企業を指導するための内容にして欲しい」など企業の規模別の内容を充実させて欲しいとの意見もあった。過去の資料を活用し、毎年新しい内容を提供することで多くの要望に応えられるセミナーになるのではないかと考えられる。					




情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー( 福岡 )					
開催報告書					
日時	2010 年 10 月 13 日 (水) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	福岡商工会議所 505 会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	福岡商工会議所、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	斉藤 滝三、堂領 輝昌			総参加者数	46 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	3 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	40 名	その他	9 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 乃田 昌幸 JNSA 持田、林、小島			4 名	
参加者の状況					
参加者は46名で、20代から60代までと様々な年代の参加があった。グループディスカッション中には、参加者同士で情報収集や意見交換などが活発に行われていた。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようだが、企業としての取り組みや地域における指導者はまだ十分でないと感じているようである。					
全体の考察					
全体を通して活発な議論が交わされ、時には会場から笑いが起こるなど、参加者が多かった神奈川会場とは異なった一体感を感じることができた。					
参加者の意見としては、ディスカッション形式の演習が中心であったため、「有意義であった」という声が多く聞かれた。また、1 日を通して同じチームで議論を行うため、他の参加者との交流を深められたことも満足度が高かった要因と考えられる。					
インシデントレスポンス演習に関しては、題材や解決方法が中小企業に当てはまらないのではないかという意見も聞かれた。今回のセミナーの主旨は指導者育成であり、業務の手順や現場の対応を学び、指導力向上につなげていただくことを目的としているため、演習で用いる題材や解決方法など企業の規模によっては当てはまらない場合が出てしまうことが原因と考えられる。中小企業という幅広い分野で指導力を発揮できる人材を育成するためには、実際のインシデント事例を参考資料として用意するなど更なるコンテンツの充実が必要であると考えられる。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（愛知）					
開催報告書					
日時	2010 年 10 月 21 日（木） 9：30～17：00				
場所	中産連ビル 2 階 会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	名古屋商工会議所、社団法人中部産業連盟、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	長谷川 長一、富田 一成			総参加者数	90 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	8 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	1 名	
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	63 名	その他	24 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 乃田 昌幸 JNSA 林、小島				3 名
参加者の状況					
参加者は 90 名と非常に多く、議論も活発に行われた。セミナー内容に関してはほとんどの参加者が「役に立った」と回答しており、ディスカッション形式のセミナーに満足していたようである。					
開催地からのご意見					
「クラウドの台頭により情報セキュリティが避けては通れない状況になっている」とおっしゃっており、情報セキュリティに対する中小企業の意識や取り組みは向上していると感じているようである。しかしながら、地域における指導者はまだまだ十分ではないと感じており、今回のセミナー参加者が地域の中小企業に対して直接指導を行ってほしいとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
参加者が非常に多く、講師も積極的に参加者の意見を引き出そうとしていたため、会場からは多くの意見が出された。時には、会場から笑いが起こるなど参加者はリラックスしながらセミナーに参加できたのではないかと考えられる。セミナー終了後には、中小企業に対する今後の指導方法について熱心に講師に質問する参加者も見られ、指導力向上の場として活用いただけているのではないかと考えられる。					
参加者アンケートでは、「参考になった」や「中小企業の情報セキュリティ対策の観点の理解につながった」などが聞かれ、インシデントレスポンス演習というロールプレイ形式の演習が指導力向上にうまくつながっているのではないかと考えられる。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー( 徳島 )					
開催報告書					
日時	2010 年 10 月 22 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	あわぎんホール 5 階 小ホール				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	徳島県商工会連合会、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	久良知 健		総参加者数	21 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名	
	商工会関係者	15 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	4 名	その他	2 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 林 弘毅 JNSA 井上、林、小島			4 名	
参加者の状況					
参加者 21 名中 15 名が商工会関係者であり、ほとんどがそれぞれ異なる商工会からの参加だった。全体の人数が少ないことで一人一人が発言する時間を多く確保することができ、「役に立った」とのご意見を多く頂戴した。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較し、中小企業の情報セキュリティに対する意識の向上はあまり感じられないようである。また、情報セキュリティへの取り組みを行っている企業もあまり増えていないと感じているようである。徳島会場では、商工会職員の参加が多かったため、今後商工会などで講師として中小企業を指導していきたいとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
IT コーディネータの参加が少なかったが、参加者同士がチーム内でフォローし合っていたため、ディスカッションはスムーズに進行していた。また、様々な町の商工会職員の方が参加していたため、特に中小企業に対する指導という面で活発な議論が交わされていたように感じられた。					
本セミナーのコンテンツを用いて「指導を行ってみたい」という意見と、「指導は難しい」という意見がほぼ半数ずつに分かれていたため、指導者の専門知識の習得やスキル不足を補える E-ラーニングのようなコンテンツを更に充実させていく必要があると考えられる。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（宮城）					
開催報告書					
日時	2010 年 10 月 25 日（月） 9：30～17：00				
場所	仙台商工会議所 7 階 大会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	仙台商工会議所、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	伏見 諭			総参加者数	47 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	2 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	2 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	1 名	
	IT コーディネータ	18 名	その他	30 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 島田 紀章 JNSA 林、小島			3 名	
参加者の状況					
<p>47 名中 9 名が過去のセミナーに参加したことがある参加者であった。過去の参加者を中心に、グループディスカッションの時間中に参加者同士でセキュリティに関する考え方やマネジメントに関する考え方を議論している様子などが見られた。</p>					
開催地からのご意見					
<p>昨年度と比較して、情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上していると感じているようである。しかしながら、地域における情報セキュリティの指導者は居るが十分ではないと感じているようであり、本セミナーの参加者が指導者となって中小企業を直接指導してもらいたいとのご意見を頂戴した。</p>					
全体の考察					
<p>ディスカッションの時間を使って、参加者同士の情報交換やセキュリティに対する考え方の議論などが交わされ、本セミナーを積極的に活用しているように感じられた。しかしながら、ディスカッションが多く「役に立った」、「満足した」というような意見がある一方で、「ディスカッションの時間が長すぎる」や「講師の指導方法をもっと学びたかった」などの意見も聞かれた。本セミナーの目的が中小企業向け情報セキュリティ指導者育成ということで、それに対する参加者の期待の大きさが感じられた。その期待に応えられるよう指導用資料の更なる充実や活用方法に関する講義などを行っていく必要があると考えられる。</p>					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 滋賀 ）					
開催報告書					
日時	2010 年 10 月 28 日（金） 9：30～17：00				
場所	コラボしが 21 3 階 大会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	滋賀県商工会連合会、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	大財 健治			総参加者数	30 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	5 名	
	商工会関係者	5 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	17 名	その他	6 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 枝川 慶彦 JNSA 井上、林、小島			4 名	
参加者の状況					
参加者 30 名中 13 名が過去のセミナーに参加したことがある参加者であった。昨年度参加者からは、ディスカッション中心の演習や新しいビデオを用いた演習が「新鮮であった」というご意見を頂戴した。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較して、情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上していないと感じており、地域における指導者はあまりいないとのご意見を頂戴した。そのため、本セミナーの参加者が地域の中小企業に対して指導を行っていく指導員として活躍して欲しいとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
参加者アンケートを見ると、「グループディスカッションで、他の参加者の考え方やセキュリティに対する視点などを知ることができて良かった」や「様々な事業で業務を行う参加者と話をできて良かった」など、参加者同士が十分に話し合えるディスカッション中心の演習が非常に好評であったと考えられる。 昨年度参加者からは、「昨年度と比較し、ディスカッションの時間が増え充実していた」と満足していただけただけなので、今後も情報セキュリティに関する最新の事例をセミナーのコンテンツに含めるなど、継続的な参加をしていただけるようなセミナーにしていける必要があると考えられる。					





情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（北海道１）					
開催報告書					
日時	2010 年 11 月 2 日（火） 9：30～17：00				
場所	北海道経済センター 8 階 B ホール				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	札幌商工会議所、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	斉藤 滝三、堂領 輝昌			総参加者数	42 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	3 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	2 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	23 名	その他	17 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 枝川 慶彦 JNSA 林、小島				3 名
参加者の状況					
38 名中 15 名が過去のセミナーに参加したことがある参加者であった。昨年度のセミナーよりもディスカッション中心に進行したこともあり、座学では深めにくい参加者同士の交流も深められたように感じられた。					
開催地からのご意見					
<p>本会場では、毎年本セミナーを開催していただいております。毎年多くの参加申し込みがあることから、情報セキュリティに対する中小企業の意識は年々向上してきていると感じているようである。また、参加申し込みの数の増加から、年々情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業が増えていると感じているようである。</p> <p>しかしながら、地域における指導者は十分でないと感じているようであり、情報セキュリティ対策費の補助といった支援プログラムなどが必要であるとのご意見も頂戴した。</p>					
全体の考察					
<p>セミナー中は活発な議論はもちろん、演習の発表時には会場の笑いを誘うような発表もあり、終始和やかなムードでリラックスしながらセミナーに参加している印象を受けた。参加者アンケートの結果を見ても大変好評だったようで、本セミナーの教材や講習内容で指導をしてみたいという回答が 95%以上となった。</p> <p>しかしながら、一部で「演習ばかりでなく、最新のインシデントの傾向をもっと聞きたかった」といった意見も聞かれた。このような要望に対応するためにも補足資料としてインシデント事例集などを提供できれば、参加者が中小企業に対して指導を行う際、より円滑に指導を行っていただけるのではないかと考えられる。</p>					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 富山 ）					
開催報告書					
日時	2010 年 11 月 12 日（金） 9：30～17：00				
場所	富山県総合情報センター 4 階 会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、社団法人富山県情報産業協会、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	渡部 章		総参加者数	24 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	15 名	その他	9 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 島田 紀章 JNSA 林、小島			3 名	
参加者の状況					
参加者は24名であり、半数以上がITコーディネータであった。また、北陸地方での開催が富山県だけであったこともあり、石川県をはじめとする近隣の他県からの参加者も数人見られた。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較し、中小企業の情報セキュリティに対する意識の向上はあまり感じられていないようである。中小企業の情報セキュリティ対策の向上のためには、経営者への啓発活動や対策方法の教育が最も必要であると考えており、「いかにして、経営者に情報セキュリティの必要性に気付いてもらうか」という問題を解決することを教えていく必要があるとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
全体を通して活発な議論が交わされ、笑いを誘うような発表もあり、会場全体でセミナーを盛り上げようという雰囲気を感じられた。セミナー終了後には、中小企業に対する指導に関して「どのようにすれば、経営者に対してセキュリティ対策を意識させることができるのか」といった質問が出るなど、中小企業への指導に対する強い意欲を感じられた。					
セミナーで用いた資料に関しては、「ターゲットにする顧客層が不明」という意見があり、多種多様な中小企業に対して指導を行っていく上で、まだコンテンツが不十分であることがうかがえた。今後は、更にコンテンツを充実させていき、参加者の指導を支援できるようにしていく必要があると考えられる。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（岡山）					
開催報告書					
日時	2010 年 11 月 17 日（水） 9：30～17：00				
場所	岡山商工会議所 405 会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	岡山商工会議所、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	木村 聡、安井 浩一			総参加者数	35 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	23 名	その他	13 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 納屋 知佳 JNSA 井上、林、小島				4 名
参加者の状況					
参加者は 34 名で、20 代から 60 代まで幅広い年齢層の参加があった。本セミナーのようなディスカッション中心のセミナーは珍しいため、「新鮮で有意義だった」などのご意見を頂戴した。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較して、中小企業の情報セキュリティに対する意識の向上や取り組みの増加などは感じられないとのご意見を頂戴した。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、対策費の補助といった支援プログラムが必要と考えているようで、情報セキュリティを含めた IT 活用支援などの新しい支援策の創設を希望しているとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
ビデオ演習に関しては、「初歩的過ぎて物足りなかった」という回答が見られたが、インシデントレスポンス演習に関しては、「大変役に立った」「役に立った」という回答がほとんどであった。インシデントレスポンス演習の方が高い難易度であることを考えると、参加者の情報セキュリティに関するレベルが高く、非常に熱心な参加者が多かったのではないかと考えられる。					
また、「2 日間に分けてセミナーを開催して欲しかった」という意見が出るなど、インシデントレスポンス演習は非常に好評であった。今後は、インシデントレスポンス演習をメインに行い、実際のインシデント事例を基に中小企業に対する指導方法を学んでいただくというセミナー構成も考えられる。					




情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 函館 ）					
開催報告書					
日時	2010 年 11 月 26 日（金） 9：30～17：00				
場所	函館商工会議所 大会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	函館商工会議所、北海道所企業団体中央会道南支部、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	西本 逸郎		総参加者数	20 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	2 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	2 名	その他	17 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 島田 紀章 JNSA 持田、林、小島			4 名	
参加者の状況					
20 名の参加者のうち、20 歳代の参加者が 4 名おり、他の会場と比較しても平均年齢が特に低かった。また、IT 関連企業の指導的立場の方の参加が多数見られた。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較して、情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業が増えてきていると感じているようである。また、中小企業の情報セキュリティ対策の向上のためには、地域での指導者育成や確保、対策費の補助といった支援プログラムが必要であるとのことご意見を頂戴した。					
全体の考察					
ビデオ演習に関しては、リスクの洗い出しにおいて鋭い意見が多く出るなど、集中して演習に取り組んでいる印象を受けた。インシデントレスポンス演習に関しては、「インシデントレスポンス」という用語を聞いたことのない参加者が多かったため、演習中にディスカッションが止まってしまうのではないかと懸念があったが、講師の誘導もあり活発なディスカッションが行われていた。					
セミナー内容に関するアンケートでは、個人のスキルアップや中小企業への指導の観点ですべて「大変役に立った」と「役に立った」という回答だったことから、参加者の満足度は非常に高かったのではないかと考えられる。「今後も函館で開催して欲しい」とのご意見も頂戴したので、今後も継続的にセミナー開催をしていく必要があると考えられる。					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(大阪1)					
開催報告書					
日時	2010 年 11 月 30 日 (火) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	大阪商工会議所 4階 401会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	大阪商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	嶋倉文裕・菅野泰彦			総参加者数	57 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	1 名	中小企業診断士	4 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	2 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	43 名	その他	16 名	
主催者スタッフ	経済産業省 島田 紀章 JNSA 井上、林、小島				4 名
参加者の状況					
セミナーの事前参加申込みは 77 名であったが、事前キャンセル 5 名、当日欠席 15 名で参加者合計 57 名と当日の欠席者が多かった。グループは 5~6 名で 10 グループを作成、活発なディスカッションが行われ、発表の場面では積極的に手が挙がっていた。ディスカッションを牽引する IT コーディネータの参加が高かったためと思われる。					
開催地からのご意見					
第2回のときにまとめて記述。					
全体の考察					
全体的に穏やかな雰囲気の中でセミナーが進行できた。グループディスカッションでも、あまり知人同士の参加は多くないように見受けられたが、発言も多くなごやかに進行できた様子である。アンケートでもおおむねほとんどのの方が「役に立った」と回答されている。					
アンケート回答者のうち 22 名が昨年からの継続参加者である。継続参加者からは昨年に比べて実践的で有効、年々良くなっている、教材は中小企業への指導に使えるとの評価をいただいた。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー( 沖縄 )					
開催報告書					
日時	2010 年 12 月 6 日 (月) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	沖縄産業支援センター 302・303 号室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	沖縄商工会議所連合会、那覇商工会議所、財団法人沖縄産業振興公社 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	富田 一成		総参加者数	31 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	1 名	
	IT コーディネータ	6 名	その他	26 名	
主催者スタッフ	経済産業省 森川 淳 JNSA 井上、林、小島			4 名	
参加者の状況					
グループは平均 5 名で 6 グループを作成、活発なディスカッションが行われた。女性の参加率が高かったことが他の地域と比較して目立った相違点である。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたとは感じられない、むしろ取り組みを始めている企業は減少しているとの御意見を頂戴した。					
全体の考察					
沖縄では初年度浦添市で開催して依頼 2 年ぶりの開催となる。前回よりも参加者数も上回り、全体的に活発な意見交換がされていた。アンケートでもおおむねほとんどの方が「役に立った」と回答されていて、「非常に有意義だった」「来年も沖縄で開催して欲しい」「演習中心の進行が良かった」「資料も現場で活用できそう」というような好意的な意見がほとんどであった。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（東京１）					
開催報告書					
日時	2010 年 12 月 9 日（木） 9：30～17：00				
場所	東京商工会議所 4 階 特別会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	東京商工会議所、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	山田 英史、菊谷 広			総参加者数	84 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	11 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	69 名	その他	12 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 乃田 昌幸 JNSA 林、菅原、水谷、小島			5 名	
参加者の状況					
参加者 84 名中、過去のセミナーにも参加した参加者が 22 名おり、継続しての参加が年々増加している。また、ほとんどの参加者から中小企業への指導の観点から本セミナーが「役に立った」とのご意見を頂戴した。					
開催地からのご意見					
地域の中小企業の情報セキュリティに対する意識は決して低いわけではないが、セキュリティセミナーへの参加率の増加や具体的な取り組みの相談の増加などには見られていないようである。また、地域の中小企業の情報セキュリティ対策の向上には、経営者や従業員への啓発活動や教育が必要であるとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
午前中のディスカッションでは、初対面の参加者が多かったためか、全体的に静かで発言をする人が決まってしまうような光景が見られた。それでも、ディスカッションを進行していくうちに打ちとけ合い、午後のインシデントレスポンス演習では、活発な議論が交わされていた。また、発表時にはユニークな意見がいくつも出され、多くの中小企業が集まる東京ならではの感じた。					
本セミナーの講習内容で実際に指導を行ってみたいという参加者が 70 名近くおり、講習に用いる教材としても満足をしていただけたようである。その中で、「企業の規模が小規模のみにフォーカスされていた」というご意見を頂戴した。多種多様な形態のある中小企業への情報セキュリティ対策を行っていくために、企業規模に応じた情報セキュリティ対策の方法など、更なるコンテンツの充実が必要であると考えられる。					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（大阪2）					
開催報告書					
日時	2010 年 12 月 13 日（月） 9：30～17：00				
場所	大阪商工会議所 4 階 401 会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	大阪商工会議所、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会				
講師	市川 順之、嶋倉 文裕			総参加者数	60 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	1 名	中小企業診断士	8 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	2 名	
	中央会職員・指導員	2 名	日商マスター	1 名	
	IT コーディネータ	37 名	その他	19 名	
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 池西 淳 JNSA 井上、林、小島				4 名
参加者の状況					
参加者 60 名中、過去のセミナーにも参加した参加者が 17 名おり、継続しての参加が多く見られた。また、11 月 30 日の同会場のセミナーと短期間で複数開催を行ったため、前回のセミナーに参加できなかった参加者が今回のセミナーに参加するなど、参加しやすい状況であった。					
開催地からのご意見					
大阪での開催は今年で3年目であるが、まだ情報セキュリティに対する中小企業の意識向上は現地の担当者としては感じられない様子である。地域における指導者は十分ではないがいるがスキルの差が大きいとのご意見も頂戴した。					
全体の考察					
午前中の演習から、非常に活発な議論が交わされていた。発表時には、前のグループの発表の内容を受けて、追加のコメントなどを交えた発表を行っているのが印象的であった。しかしながら、講師が挙手での発表を求める場面では、あまり積極的に挙手はされず、少々消極的な印象も受けた。午後の演習では、全グループから「検討時間を延長して欲しい」との声が上がり、一日を通して非常に熱心な議論が交わされていた。					
参加者アンケートでは、「本日の資料以外にあったら良いと思う資料はありますか」という問いに対して、「インシデントレスポンスの事例集」や「最近の事故事例集」などが挙げられた。実際に中小企業に対して指導を行う際に、このような情報があると指導が行いやすいため、今後のコンテンツに積極的に取り入れていく必要があると考えられる。					





情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（大分）					
開催報告書					
日時	2010 年 12 月 16 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	大分商工会議所 5 階 中ホール				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	大分商工会議所、NPO 法人大分 IT 経営推進センター、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	大溝 裕則		総参加者数	32 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	1 名	中小企業診断士	5 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	9 名	その他	23 名	
主催者スタッフ	経済産業省 九州経済産業局 地域経済部 松谷 昭一 JNSA 林、小島			3 名	
参加者の状況					
<p>参加者は 32 名で、セミナー開始前から顔見知りの参加者が多く、グループで積極的に情報交換が行われ、演習では最初から活発なディスカッションが交わされていた。</p>					
開催地からのご意見					
<p>昨年度と比較して、情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業も増加していると感じているようである。情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員への啓発活動及び対策方法の教育などが必要であるとのご意見を頂戴した。</p>					
全体の考察					
<p>1 日を通して、活発な議論が交わされ、発表に関しても積極的に挙手があった。また、講師の解説時には熱心にメモを取るなど、高い向上心が見られた。インシデントレスポンス演習に関しては、「インシデントレスポンス」という用語を知らない人が半数以上いたが、講師のアドバイスもあり、ディスカッション、発表ともに問題なく進行していた。</p> <p>参加者アンケートでは、「実際に経営者と話をするときの説得の材料になる」など、中小企業の情報セキュリティ対策へ活用していくという前向きなご意見を頂戴した。一方で、「中小企業の情報セキュリティ被害事例の最新情報が欲しい」というようなご意見もあり、更なるコンテンツの充実が必要であると考えられる。</p>					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー( 広島 )					
開催報告書					
日時	2010 年 12 月 17 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	広島商工会議所 202 号会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	広島商工会議所、NPO 法人 ITC 広島、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	濱本 常義、斉藤 滝三、堂領 輝昌			総参加者数	44 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	4 名	
	商工会関係者	1 名	EC 実践講師	1 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	34 名	その他	13 名	
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名	
参加者の状況					
参加 44 名中、過去のセミナーにも参加した参加者が 12 名おり、継続しての参加が多く見られた。また、開始前から名刺交換を行ったり情報交換を行ったりする姿が見られた。					
開催地からのご意見					
広島商工会議所様で実施する情報セキュリティ関連のセミナーに例年多数の受講者が居るため、情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上は感じられているようである。しかしながら、指導者登録などの制度がないため、それらのセミナーが中小企業に対する指導などにどの程度反映されているかは不明であるとのことご意見も頂戴した。					
全体の考察					
ビデオ演習で会場から笑いが起こるなど、初めから和やかなムードで進行されていた。また、発表時には各チームが積極的に発言しようとする姿勢が見られた。講師解説では講師自身の経験に基づいた事例を熱心にメモに取るなど、熱心な参加者が多く見られた。					
参加者アンケートでは、「セミナー内容が漠然としている」など指導を行うには十分ではないとのこと意見を頂戴した。今後は、より具体的で実際の中小企業の状況に近い演習内容とし、多くの参加者に指導を行っていただける内容にしていく必要があると考えられる。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 神奈川 2 ）					
開催報告書					
日時	2011 年 1 月 17 日（月） 9：30～17：00				
場所	相鉄岩崎学園ビル 8 階 807 号室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	神奈川県商工会議所連合会・神奈川県商工会連合会 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	勝見 勉、押田 正雄		総参加者数	53 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	3 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	1 名	
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	26 名	その他	28 名	
主催者スタッフ	JNSA 林、水谷、小島			3 名	
参加者の状況					
参加者 53 名中、過去のセミナーにも参加した参加者が 8 名おり、神奈川 1 の会場同様に継続しての参加が見られた。同一会場で 2 回目の開催ということで前回よりも参加者は少なくなったが、前回同様活発に議論が交わされていた。					
開催地からのご意見					
中小企業の情報セキュリティ対策向上に必要なこととしては、経営層への啓発活動や教育と感じているようであった。また、ウイルス対策の意識の高まりからウイルス対策ソフトの更新には気を使うようにはなっているが、アプリケーションのバージョンアップにはまだまだ対応しきれておらず更なる意識の向上が必要と感じているようであった。横浜においても指導者は十分にはいないと感じており、今回のセミナーに参加ができなかった地域の指導者のために同会場でもう一度開催して欲しいとのご意見も頂戴した。					
全体の考察					
リスク発見演習のグループディスカッションでは、非常に細かい部分まで話し合っている姿が見られ、参加者のレベルの高さがうかがえた。また、各チーム発表後の個人の自由発表では多くの発言が出て、積極的な姿勢も見られた。					
参加者アンケートでは、「初めて顔を合わせる者同士でのディスカッションは新鮮であり、業務の中で役に立ちそう」や「昨年のセミナーよりも洗練されていて良かった」といった、ディスカッションをメインとした本年度のセミナーに満足というご意見を多く頂戴した。					



情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー( 埼玉 )					
開催報告書					
日時	2011 年 1 月 24 日 (月) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	大宮ソニックシティ 906 研修室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	さいたま商工会議所、NPO 法人 IT プロ技術者機構、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	長谷川 長一、久良知 健			総参加者数	43 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	7 名	
	商工会関係者	1 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	36 名	その他	5 名	
主催者スタッフ	JNSA 林、菅原、小島			3 名	
参加者の状況					
<p>参加者は 43 名であったが出席率が 58.1%と、おおむね 80%以上の出席率であった他の会場と比較すると低かった。</p> <p>また、IT コーディネータの参加者が 43 名中 36 名と非常に多かったこともあり、全体の情報セキュリティに対する知識のレベルは高かった。</p>					
開催地からのご意見					
<p>近年の情報漏えいの事件などから、中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上していると感じているようである。また、実際に情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業も増えていると感じているようだが、時に経営者の認識不足が感じられることがあるとのご意見を頂戴した。</p>					
全体の考察					
<p>参加者のほとんどが IT コーディネータであったこともあり、全体的にレベルが高かった。ビデオ演習のグループディスカッションにおいては、積極的に発言をしており、講師が意見や疑問点を募ると多くの参加者が挙手をしていたことから、非常に熱心に参加していることがうかがえた。また、講師のコメントや会場の発表に対して参加者から笑いが起こるなど、一日を通してリラックスしたムードで行われ、参加者同士がチームごとに交流を深められたのではないかと考えられる。</p> <p>参加者アンケートでは、「ビデオがわかりやすく構成もしっかりしていた」や「2 日コース、3 日コースがあっても良いと感じた」というご意見も頂戴した。参加者の満足度の高さがうかがえると同時に、参加者によっては進行が早いと感じる方もおり、参加者の知識や経験のばらつきをなくすようなコンテンツをセミナーに組み入れるということも必要ではないかと考えられる。</p>					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー( 青森 )					
開催報告書					
日時	2011 年 2 月 2 日 (水) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	八戸インテリジェントプラザ 2 階 アイピーホール				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	八戸商工会議所、財団法人八戸地域高度技術振興センター、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	西本 逸郎		総参加者数	28 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	7 名	その他	22 名	
主催者スタッフ	経済産業省 東北経済産業局 地域経済部 村田 久明 JNSA 林、小島			3 名	
参加者の状況					
参加者は 28 名で、事前キャンセルを除けば出席率は 100%で全員参加となった。グループディスカッションにおいては、他の参加者の意見をしっかり聞いてから発言をするなど、全体的に落ち着いている印象を受けた。					
開催地からのご意見					
地域の中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上してきていると感じているようである。また、他のセミナーに参加している経営者にも情報セキュリティの必要性は浸透しているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、地域企業や団体における連携の強化、情報交換を行う仕組みづくりなどが必要であるとのことご意見を頂戴した。					
全体の考察					
ビデオ演習では、非常に集中してビデオを観ており、細かいリスクまで見逃さず洗い出せていた。また、その対策を検討するディスカッションでは、「退室の管理を徹底することで、供連れを防ぐ」など、細かい部分まで対策が考えられており、地域での中小企業に対する指導を意識した発言が多く見られた。インシデントレスポンス演習では、「インシデントレスポンス」という用語を知っていた参加者が数人しか居なかったものの、講師の補足の説明もあり、ビデオ演習同様細かい部分まで滞りなく議論が交わされていた。セミナー全体を通して、講師から多くのことを学び、地域の中小企業に対する指導につなげようという意欲が強く感じられた。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 栃木 ）					
開催報告書					
日時	2011 年 2 月 8 日（火） 9：30～17：00				
場所	ホテルニューイタヤ 蓬莱の間				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	宇都宮商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	勝見 勉		総参加者数	26 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	2 名	
	商工会関係者	1 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	12 名	その他	12 名	
主催者スタッフ	経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 小澤 元樹 JNSA 林、小島			3 名	
参加者の状況					
参加者は 26 名で、30 代から 60 代と比較的 年齢層が高かった。グループディスカッション においては、非常に活発な議論が交わされ、 質疑応答の時間にも講師に対して多数の質問 が出されていた。					
開催地からのご意見					
地域の中小企業の情報セキュリティ対策の取り組みはあまり積極的に行われてはならず、中小企業の 経営者の情報セキュリティに対する意識はまだまだ低いと感じているようである。中小企業の情報セキ ュリティ対策を向上させるためには、情報セキュリティの啓蒙がさらに必要であるとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
一日を通して活発な議論が交わされていた。特に中小企業という視点からコスト面・リソース面でバラ エティの富んだ発表が多かった。このことから、普段から中小企業に対して指導を行っているような参加 者が多かったのではないかと考えられる。					
参加者アンケートでは、「短時間で中身の濃い内容だった」や「テキスト、カリキュラムが充実してい た」などのご意見を頂戴した。また、講習会に関する問い合わせも多かったため、本セミナーが中小企 業に対して指導を行う際の一つの手段として活用して戴けているのではないかと考えられる。					


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(長野)					
開催報告書					
日時	2011 年 2 月 10 日 (木) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	松本商工会議所 6 階 会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	松本商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	山田 英史		総参加者数	39 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	4 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	25 名	その他	10 名	
主催者スタッフ	経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 坂口 伸 JNSA 林、小島			3 名	
参加者の状況					
参加者は 39 名で、IT コーディネータの参加者が 25 名と多かった。そのため、参加者全体の情報セキュリティのレベルも高く、活発な議論が交わされていた。					
開催地からのご意見					
地域の中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上していると感じているようで、情報媒体の取り扱いなど目に見える対策は良く行われているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、情報セキュリティが生産性などの企業の利益にいかにして繋がられるかを理解していただくことが第一歩であるとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
<p>一日を通して、グループディスカッションでは活発な議論が交わされていたが、発表になるとやや消極的な面が見られた。インシデントレスポンス演習では、中小企業の視点から想像力豊かな対応策がいくつも発表されていた。普段から、中小企業に対して指導を行っている参加者が多かったのではないかと考えられる。</p> <p>参加者アンケートでは、「ビデオ演習はわかりやすく、社員の教育にも利用できそう」や「インシデントレスポンス演習では、より詳細な説明が必要」といったご意見を頂戴した。このような意見から、今後はインシデントレスポンス演習に時間をかけて、より詳細に中小企業のインシデントレスポンスが学べる内容にしていく必要があると考えられる。</p>					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(東京2)					
開催報告書					
日時	2011 年 2 月 15 日 (火) 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	東京商工会議所 7 階 国際会議場				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	東京商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	市川 順之、長谷川 長一			総参加者数	73 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	7 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	40 名	その他	31 名	
主催者スタッフ	経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 五十嵐 悟 JNSA 林、田所、水谷、小島			5 名	
参加者の状況					
参加者は 73 名であり、昨年 12 月 9 日の東京 1 会場と同様多数の参加が見られた。参加者全体の情報セキュリティに対する知識のレベルも高く、参加者同士の情報交換も含め、活発な議論が交わされていた。					
開地からのご意見					
地域の中小企業の情報セキュリティに対する意識は決して低いわけではないが、セキュリティセミナーへの参加率の増加や具体的な取り組みの相談の増加などには見られていないようである。また、地域の中小企業の情報セキュリティ対策の向上には、経営者や従業員への啓発活動や教育が必要であるとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
全体的に参加者のレベルが高く、ビデオ演習では、映像として出てこない潜在リスクに関しても良く洗い出されていた。その反面、グループディスカッションではあまり発言をしていない参加者もあり、特定の参加者が発言をするといった場面が見られた。東京会場は参加者が多いこともあり、6 人チームが半数以上だったため、一人ひとりが発言をする時間が少なかったことが原因と考えられる。					
今後は、セミナー内容だけでなくチームの構成や発表方法なども考慮して、参加者が有意義と感じられるセミナーにしていく必要があると考えられる。					



情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（兵庫）					
開催報告書					
日時	2011 年 2 月 16 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00				
場所	神戸市教育会館 5 階 501 会議室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	神戸商工会議所、NPO 法人 ITC 近畿会、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	嶋倉 文裕		総参加者数	37 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	4 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	1 名	
	IT コーディネータ	19 名	その他	17 名	
主催者スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 坂倉 孝雄 JNSA 下村、井上、林、小島			5 名	
参加者の状況					
<p>参加者は 37 名で、参加者の情報セキュリティに対する知識は全体的に高かった。</p> <p>グループディスカッションでは、活発で自由な議論が交わされ、チーム内での情報交換なども活発に行われていた。</p>					
開催地からのご意見					
<p>地域における中小企業の情報セキュリティに対する意識は年々確実に高まってきているが、実際に情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業の増加はあまり感じられていないようである。今後、さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者が参加したいと感じるようなテーマや内容のセミナーを展開していくことが必要であるとのご意見を頂戴した。</p>					
全体の考察					
<p>ビデオ演習では、映像に出てくる人物の行動やセリフからその人間性まで読み取り、潜在リスクまで検討されていた。また、発表時には、「机の上が整理されていないことから情報漏えいにつながる」や「セキュリティの標語を作成することが目的になっていて本末転倒」といった他の会場ではあまり聞かれなかった独特の意見が聞かれた。このように中小企業の情報セキュリティ対策を意識した発言が多くあり、会場全体で様々な考え方が共有されていた。</p> <p>参加者アンケートでは、「中小企業への指導にはとても有効なコンテンツだが、そのまま指導に使うにはボリュームがあり過ぎる」とのご意見を頂戴した。そのため、あまり時間を取らず、簡単に中小企業への指導ができるようなコンテンツの使用方法なども検討していく必要があると考えられる。</p>					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 秋田 ）					
開催報告書					
日時	2011 年 2 月 18 日（金） 9：30～17：00				
場所	秋田商工会議所 7 階 ホール 80				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	秋田商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	大財 健治、藤田 平			総参加者数	23 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	2 名	中小企業診断士	2 名	
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	3 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	4 名	その他	13 名	
主催者スタッフ	JNSA 小島				1 名
参加者の状況					
参加者は 23 名で、全員今年度のセミナーが初めての参加であった。参加内訳としては、IT コーディネータ、中小企業診断士、商工会議所職員、中央会職員と様々な参加者が集まった。演習中の議論だけでなく、休憩時間中にはチーム内の情報交換なども行われていた。					
開催地からのご意見					
昨年度と比較して、地域の中小企業の情報セキュリティに対する意識の向上はあまり感じられないようである。また、地域における情報セキュリティの指導者はあまりいないため、本セミナーの参加者には商工会議所等が主催でセミナーを開いた際には講師として、中小企業に指導を行っていただきたいとのご意見を頂戴した。					
全体の考察					
グループディスカッションや発表でも 1 つ 1 つの問題に対して、丁寧に検討・発言がされていた。例えば、ビデオ演習のワンシーンのノートパソコンを自転車の前かごにそのまま入れて走行する社長に対して、「自転車の前かごに札束を入れますか？」とアドバイスし、ノートパソコンが重要な資産であることをわかってもらうという発言があった。このように中小企業に対して、実際に実施可能な対策を意識しており、現場に近い想定がされているように感じられた。					
参加者アンケートでは、「中小企業向けということなので、中規模(従業員 300 名程度)の企業の例もあるとさらに良くなる」とのご意見も頂戴した。今年度のセミナーでは、従業員 10 名程度の企業を題材にしていたので、今後は中規模の企業も題材に取り入れて同様のコンテンツを作成することで、さらに充実したセミナーになると考えられる。					

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 京都 ）					
開催報告書					
日時	2011 年 2 月 25 日（金） 10：00～17：00				
場所	京都商工会議所 2 階 教室				
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会				
後援	京都商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会				
講師	小柴 宏記		総参加者数	51 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	6 名	中小企業診断士	10 名	
	商工会関係者	3 名	EC 実践講師	0 名	
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名	
	IT コーディネータ	26 名	その他	16 名	
主催者スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 坂倉 孝雄 JNSA 井上、林、小島			4 名	
参加者の状況					
51 名中 12 名が過去のセミナーに参加したことがある参加者であった。また、セミナー開始前から参加者同士で自己紹介や情報交換を行っており、グループディスカッションでは特に議論が白熱していた。					
開催地からのご意見					
中小企業の情報セキュリティに対する意識は、昨年度から向上しているとは感じていないようであり、地域における情報セキュリティの指導者は十分でないと感じているようである。また、中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者への啓発や教育及び情報セキュリティ対策費の補助といった支援プログラムが必要であるとのことご意見を頂戴した。					
全体の考察					
ビデオを観ながら笑いが起こるなど、和やかな雰囲気で行進していた。エコと情報セキュリティの兼ね合いや対策費用など、中小企業の視点からの発言が多く見られ、資金や人材の制約のある中で良く検討されていた。また、セミナー終了後も熱心に講師に質問をするなど、本セミナーを積極的に活用している姿が見られた。					
参加者アンケートでは、「演習ビデオは、身近な事例が集められているので商店街や地域セミナーで用いたい」や「昨年度の演習ビデオもセキュリティ対策に活用できたので、今年度の演習ビデオも活用したい」といった演習ビデオに関するご意見を多く頂戴した。このように指導を行う際の教材として演習ビデオを用いることは、非常に高い効果が期待できるため、今後も新しい演習ビデオの作製や過去の演習ビデオの再活用などを行っていく必要があると考えられる。					



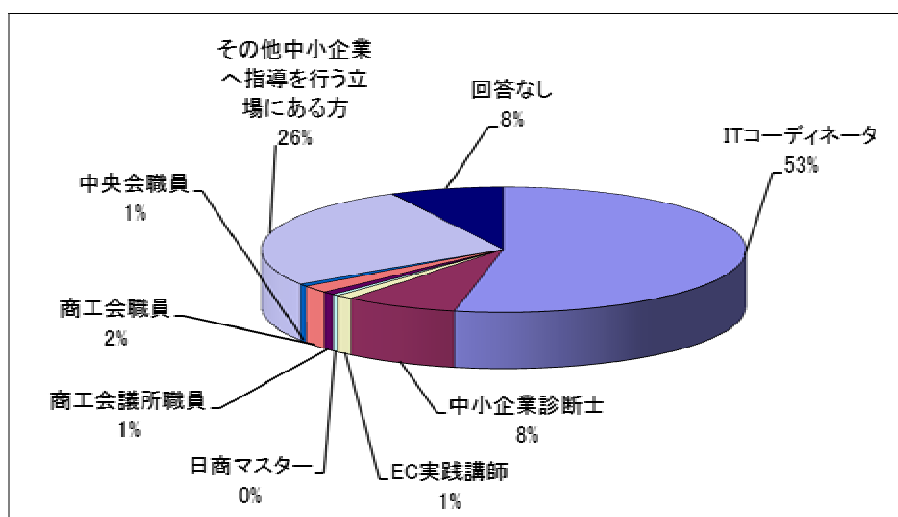
## 第6章 セミナー実施状況

セミナー参加者に対して受講後アンケートを行い、今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。参加の状況及び、受講をした感想について集計し、実施効果の把握とともに今後の課題などについて分析を行った。

### (ア) 参加者の立場

回答項目	回答数
ITコーディネータ	633
中小企業診断士	90
EC実践講師	13
日商マスター	5
商工会議所職員	10
商工会職員	23
中央会職員	8
その他中小企業へ指導を行う立場にある方	315
合計	1,097

複数回答のため合計は参考値

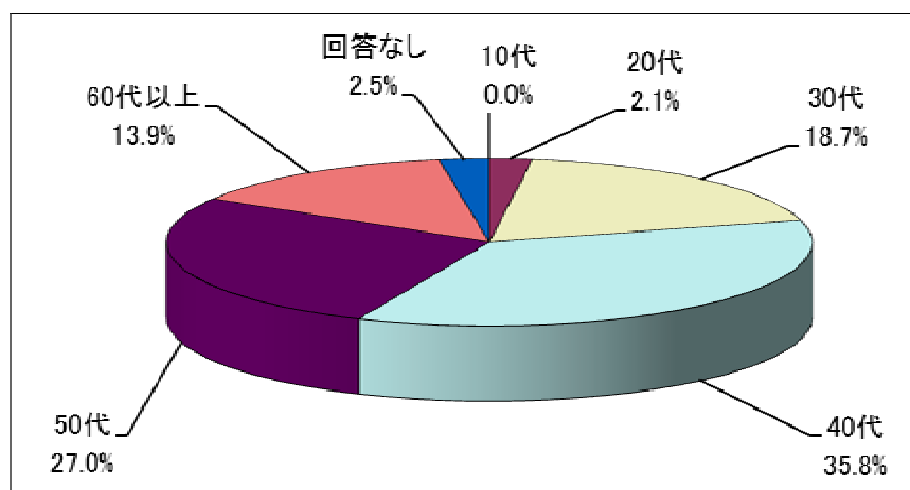


前年度までと同じく、商工会議所、商工会職員及びITコーディネータなど、地域でIT化を支援している人材に参加してもらうことを想定して開催した。実際の参加状況は、ITコーディネータの参加が半数以上、昨年度から参加を呼びかけた中小企業診断士も8%と、期待通りの参加をいただけた。

また、今年から地域で中小企業の指導を行う立場にある方を広く募集することとし、地域での指導的企業や中小企業からの直接参加も呼びかけた結果、中小企業への指導を行う立場の方の参加も26%と一定の成果が上がった。

対して、商工会議所関係については、セミナーに参加して中小企業の情報セキュリティに関する指導を直接行うことよりも、指導する立場の方々のネットワーク構築や、指導の場の提供といったサポート的立場での関与をしてもらっている。

# (イ) 参加者の年代

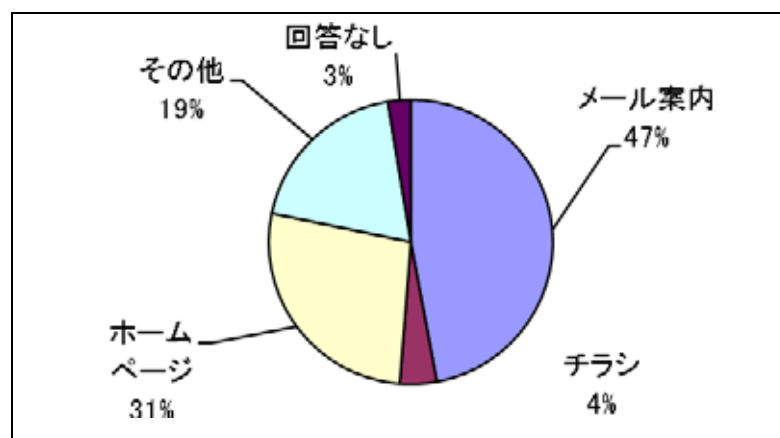


中小企業への指導的立場の方の参加を募ったこともあり、40歳代が35.8%と一番多く、次に50歳代の27.0%と、40・50歳代で60%余りを占めている。また、情報セキュリティという内容の特性上か、30歳代も18.7%参加しており、幅広い年代層の参加があったことが伺える。この傾向は本事業開始の前々年度から同傾向であり、ほかの分析も加える必要はあるだろうが、ある程度地域における情報セキュリティ指導者の年代を表しているともいえる。

# (ウ) セミナーを知ったきっかけ

前年同様、メールによる案内とホームページ閲覧が多いが、特に今年度はメールによる案内が47%（前年度 38%）と集客の半数を占める結果となった。メールでお知らせを行うことで、ホームページに誘導するという集客方法が、参加者の層を考えた場合には効果が高いと考えられ、同様内容のセミナーでの有効な集客手段といえる。

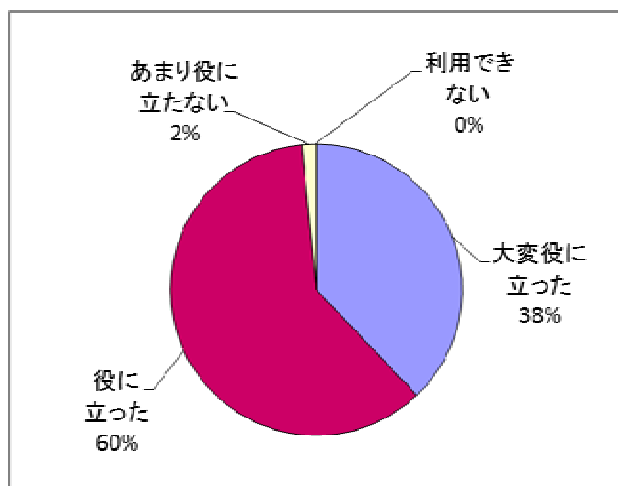
回答項目	回答数
メール案内	509
チラシ	45
ホームページ	292
その他	207
回答なし	28
合計	1,081



(エ)「ビデオ演習 リスク発見編」(ビデオ上映とリスク発見演習)

演習に利用した事例ビデオ

回答項目	回答数
大変利用できる	406
利用できる	648
あまり利用できない	17
利用できない	0
合計	1,071



今年度は、30名以下の中小企業を想定して、日常の業務を映像で描くことで、その中から情報セキュリティリスクを発見するためのビデオを作成した。

回答のとおり、非常に高評価を受けており、特に中小企業の日常業務をイメージしながらリスク発見ができる点が、実際の指導の際に使いやすいという意見をいただいている。

また、「あまり利用できない」とお答えの方も数名あったが、以下のような意見であり、積極的に使うために改善意見として記載いただいている。

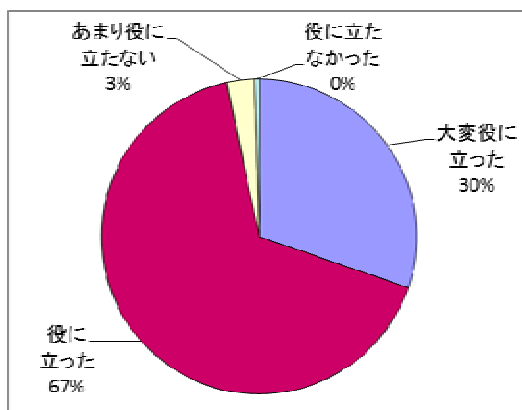
【意見抜粋】

- ・ 具体的な事例は映像にあったが、実際に被害が起こった場合はどの様になるのか？何がセキュリティ上のリスクであるかの答えを代表的な事故事例で示して欲しかった。中小企業でも組織的な課題はある。
- ・ リスク発見に有用。リスクで重大なインシデントが起きてしまうことを知らせるのを追加しては！
- ・ 定量的なリスクに関する内容も欲しい(失敗まで行った例)

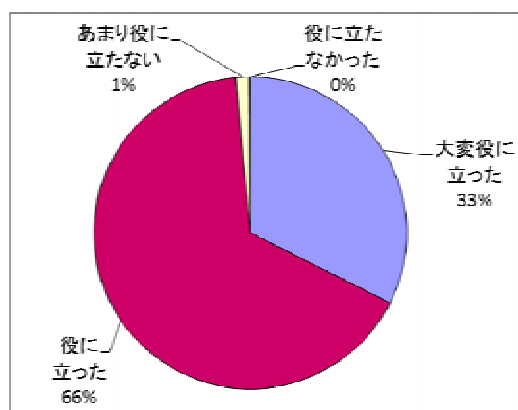
## リスク発見演習について

回答項目	個人スキルアップ	中小企業への指導
大変役に立った	324	347
役に立った	712	703
あまり役に立たない	30	15
役にたたなかった	5	1

【個人スキルアップ】



【中小企業への指導】



リスク発見に関しては、セミナー時間内でも活発な意見交換がなされ、事前に準備した想定されるリスクと対策案の一覧にはない潜在リスクまでも議論いただいたグループもあった。

回答のとおり、非常に高評価を受けており、特に個人のスキルアップに比較して中小企業への指導の観点で役に立ったという意見が多かったことが、指導者育成の目的に沿ったセミナー内容となっているといえる。

また、もっと良くするための意見として、以下のような記載もいただいている。

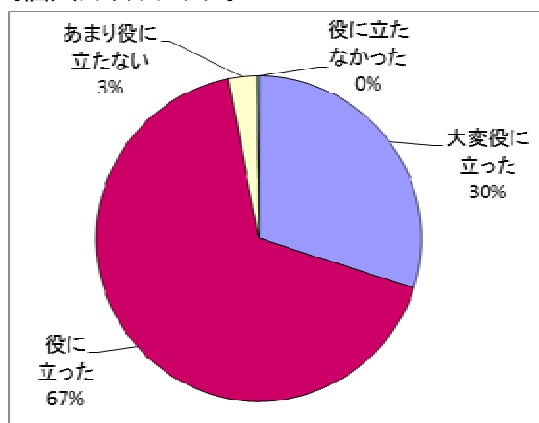
### 【意見抜粋】

- ・ 指導する際に「どの様な視点で気づいてもらう(気づかせる)のか？」のリストがあれば良い。
- ・ 中小企業の人材・資金不足がハザードとなっているので、経営力向上と情報リテラシーの向上が同時に必要。
- ・ 全く知らない人には有用だが、えてしてそういう人は聞いてくれない。自発的行動に向けた動機付けが必要。
- ・ 中小企業の現場では従業員の意識が足りないことが多い。啓発に何を為すべきかを考えさせる教材が必要。

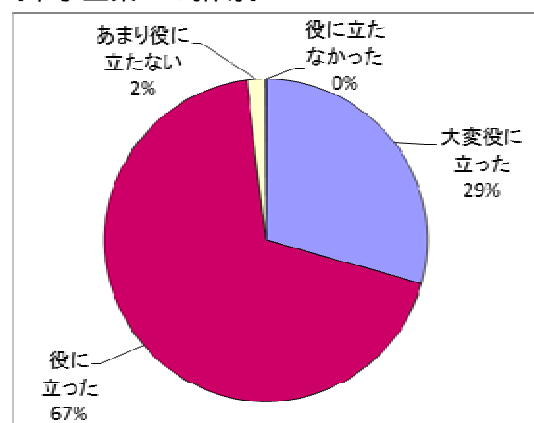
(オ)「ビデオ演習 対策検討編」(原因と対策案の検討・発表)

回答項目	個人スキルアップ	中小企業への指導
大変役に立った	310	302
役に立った	696	708
余り役に立たない	29	19
役にたたなかった	2	1

【個人スキルアップ】



【中小企業への指導】



対策検討に関しても評価は高く、特に中小企業を想定した対策検討ができたという意見が多く、ビデオとともに中小企業の経営者に対して具体的に対策の提案ができるという意見をいただいた。

反省点としては、時間に限りがあったことから対策の優先順位付けや想定コストまでを考えた演習までが行えなかったところであろう。

以下の意見にもあるように、リスクアセスメント全体のプロセス理解と、リスク発見及び対策の具体的検討までを演習で行っていくには、ある程度参加者の前提知識を考えた運営も必要であろう。

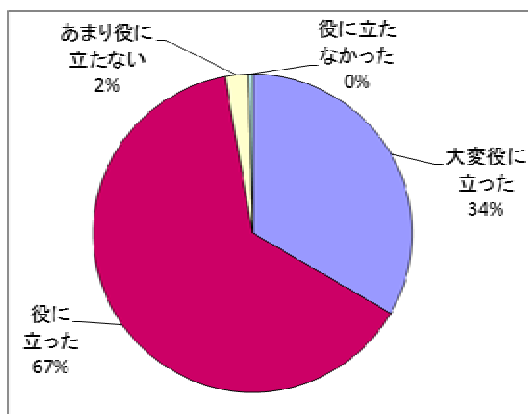
【意見抜粋】

- ・ グループ数が多く、発表・質疑の時間がタイトなため、担当外のセクションの深掘が出来なかった。
- ・ 具体的なリスクアセスメント、優先順位をつけるノウハウ、資料(対策案の費用対効果等)が欲しい。
- ・ 中小企業はお金が無いので、資金を必要としない対策案を提示する必要がある。(100点満点でなくとも)

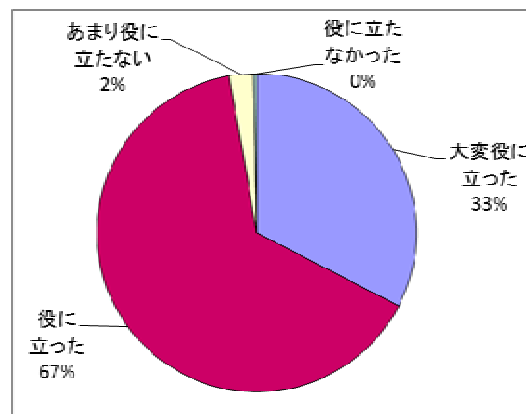
(カ)「インシデントレスポンス演習」

回答項目	個人スキルアップ	中小企業への指導
大変役に立った	338	329
役に立った	646	652
余り役に立たない	24	25
役にたたなかった	4	3

【個人スキルアップ】



【中小企業への指導】



インシデントレスポンス演習については、今年度初めて取り入れた研修内容である。中小企業経営者に対しては、事前の対策を訴えるだけでなく、明確に危機感を持ってもらうための意識付けが必要という前年度受講者等の意見を踏まえて企画したものである。

セミナー受講者の評価は非常に高く、ディスカッションにより活発な意見交換がなされ、インシデント発生時をイメージした討議となっていた。

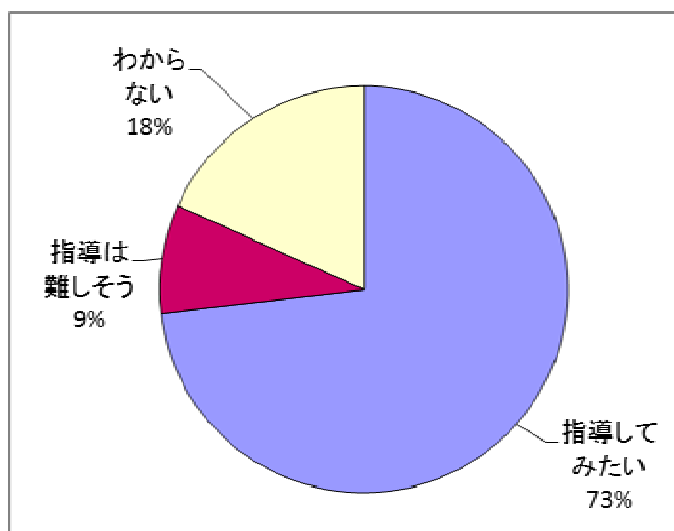
なお、討議を活発にするために、事例とした企業の状況やインシデントの内容については、あまり限定的とならないようにして実施したため、知識のあるグループにおいては、想定される状況が多すぎ意見がまとまりにくい場面もあった。前提知識に応じた情報提供ができると、より多くの受講者に対応できるセミナー内容となったと考える。

【意見抜粋】

- ・ 時間が短いので、深く検討・ディスカッションが出来無い。インシデント時の状況をシミュレーションするのであれば事前に明示的にではなく、アナウンスすることで効果的になるのではないか。
- ・ 拡大被害のおよその金額や対応時間損失の影響度の部分にはインパクトのある事例が欲しかった。
- ・ 実際の費用対効果など作成できればより素敵。中小企業の視点での補足がもっとあったほうが良かった。

(キ) 今回のセミナー内容での実際の指導希望  
リスク発見演習・対策検討演習

回答項目	回答数
指導してみたい	753
指導は難しそう	89
わからない	188



ビデオを使ったリスク発見及び対策検討に関しては、非常に多くの方から実施してみたいという意見をいただいた。後述するセミナー受講者による講習会でも、ビデオ演習の実施は62開催中48回と実施しやすい構成であったといえる。

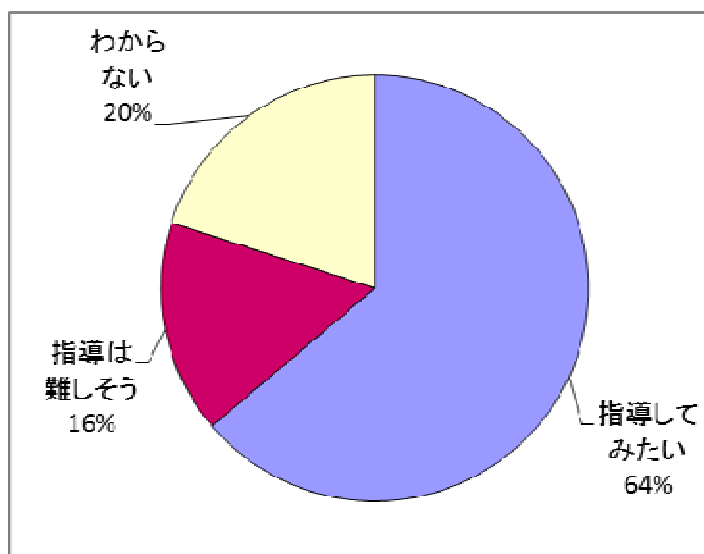
「指導は難しそう」「わからない」の意見を見ても、内容への不満ではなく、短時間にまとめたリ実施企業規模別に実施スケジュールを変えることの問題と、自分自身がまずは幅広い知識を習得する必要があるといった意見が多かった。

【意見抜粋】

- ・ 2時間ぐらいのパッケージで出来るかどうか不明。
- ・ 企業によって規模・レベルが違う。
- ・ 自分に自信が無い(専門知識がいるのでは?)。
- ・ テキスト以外のバックボーン(知識)の不足。
- ・ セキュリティ知識やセミナーのノウハウがあっても、講師経験が無いと難しいのではないと思う。

## インシデントレスポンス演習

回答項目	回答数
指導してみたい	643
指導は難しそう	163
わからない	202



指導してみたいという方は 64%と半数以上が意識していただいているが、ビデオによるリスク発見・対策検討演習と比べると、若干(9%)低くなっている。

インシデントレスポンス自体が、セミナー参加者にとっても日常体験できるものではないことと、対象となる中小企業の規模や業種によって、対応パターンがたくさんあるのではないかと不安から、指導は難しそうだと感じた方がいたようである。

### 【意見抜粋】

- ・ 中小企業のリテラシーが全体に低いことと、対策パターンが種々あるため解説や Q&A が難しそう。
- ・ 自分自身のテキスト以外のバックボーン知識の不足。
- ・ 受講者をCIOやシステム担当に絞る必要があるそう。
- ・ 専門家には良いが、中小企業に教えるには難しい内容だと考える。



## (ク) セミナー全体に対する感想や意見

総合的な意見としていただいているものの半数以上が、好評価の意見を明記いただいております。特に、ビデオの内容を含めて、演習中心の実施形式に対する評価が高く、もっと時間を割いても受講したいという意見が多かった。

また、演習形式での指導をより有効なものにするために、指導ツールとして、対策事例の紹介やインシデントの事例集などの要望意見もあり、より現場での指導を意識して受講いただきました。

非常に多くの参考になる意見をいただいております、それだけでも本事業への期待を感にさせるものとなっている。紙面の都合上、以下に代表的なものを抜粋して記載させていただく。

### 時間配分等

- ・ 実際に中小企業向けに教育する場合の日程について、いくつかのパターンを提示して欲しい。
- ・ 1日単位の講習だけでなく、半日単位の指導者対策講習が設定できるとより気軽にできる。
- ・ インシデント演習は状況の説明文を把握するのに時間がかかり演習としては時間が足りない。

### プログラムの内容と運営

- ・ 企業規模別や経営者層と情報システム管理者層別に分けての資料や教材、セミナーが必要。
- ・ 演習形式は非常に効果が良い反面、受講者のレベルが違くと指導は難しい。
- ・ このセミナーを直接セキュリティ面に不安を持ったままの中小企業の経営者や責任者向けに実施されると効果が高いと思います。

### ビデオの内容

- ・ インシデントが発生してしまった後のリカバリーの大変さを実感できるビデオの方がインパクトがあって、セキュリティの重要性をもっと認識できると思います。
- ・ インシデントレスポンス演習も午前中の様なビデオがあると状況がつかみやすいと思います。

### 説明資料

- ・ インシデントレスポンス演習は面白い切り口でした。中小企業に対しては、再発防止策よりルールを考えてもらった方が良いかも知れません。
- ・ リスクの原因・究明をもっと詳しく説明した資料が欲しい。
- ・ 実際の指導に際して引かかる点、クリアしなければならない点(特に中小企業にありがちなワンマン経営者の反発や社内の馴れ合い等)についても紹介願いたい。
- ・ ビデオ演習とセキュリティ対策マニュアルとのリンクがあると、更に指導がし易いです。
- ・ 対策の理想的なもの、企業規模での落とし所の一覧表があると良いと思います。

### 講師

- ・ 演習ばかりだと、飽きてしまうので、セキュリティ事故の傾向等の話をもっと入れて戴いた方が良いと思います。
- ・ 中小企業としてどれくらいの範囲まで対応すべきか、優先順位の付け方などのアドバイスがあると尚良いです。(ケースにより異なるため難しいとは思いますが)

### その他の要望

- ・ 講習会の開催期限が11年2月までは短い。来年度も継続できるようお願いします。指導者登録は年度末事業のため、受講後登録しても実質3ヶ月間しかない。
- ・ 網羅することがやっかいな情報セキュリティの着眼点を纏めてもらって助かった。継続してWebサイトをウオッチして行くので、更新情報の連絡など希望したい。

## 第7章 開催会場からの意見

開催に協力いただいた商工会議所、商工会連合会等(23 会場)に、地域の中小企業における情報セキュリティ対策の現状を踏まえつつ今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。

なお、複数回答設問については設問回答数合計が23件以上、回答がなかった設問は回答総数の23件に満たないものがある。

(ア) 昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
12	11	0

事故や実害があって初めて対応を考える企業はまだ多いが、セミナーへの参加者は増えて来ており、意識は低いながらも徐々に上がり始めているという状況がうかがえる。

個別意見としては、目に見える部分だけの対策になっていたり、対策を実施していても担当者任せただけという意見があった。

また、クラウド化による脅威の高まりを指摘する意見も出てきたのが特徴だろう。

### 【自由意見】

- ・ 情報媒体の扱いなど、目に見える部分への対策が行われている。
- ・ 何か事故があって初めて取り組む企業は多い。
- ・ 本所で実施する情報セキュリティ関連のセミナーは例年多数の受講者があるが、各企業の取り組み状況は把握していない。
- ・ クラウドの台頭により情報セキュリティが避けて通れない。
- ・ 情報流出の脅威が浸透しつつある。

(イ) 昨年度と比較して情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業が増えていると感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
11	11	1

感じるといった意見では、毎年このセミナーを実施しており、参加者が増えているため実感として感じているという意見や、別の機会でも意識の高まりを感じているようだ。

一方では、経営者や零細企業に向けた啓発の重要性についての意見もあり、二極化の傾向が感じられる。

### 【自由意見】

- ・ 年々、申込者人数も増加している。
- ・ 本セミナーへの積極的な参加企業が増えている。
- ・ 当部署がISO/IEC27001の取得をしている関係で相談を数件いただいた。
- ・ 別で開催している「経営力強化セミナー」からも必要性がうたわれている。
- ・ 零細企業については、まだまだ啓発の必要性を感じる。
- ・ 経営者の認識不足が時々感じられる。

(ウ) 地域における指導者的立場の人材の現状についてどう思うか？

十分にいます	十分ではないがいます	どちらともいえない	あまりいない
1	17	3	2

まだまだ十分にいますという地域は少ないが、ITコーディネータなどの能力を持った方の活用に期待する声があった。

商工会議所・商工会等の組織体制を含めて、指導体制の構築途上ということであろう。

【自由意見】

- ・ 商工会議所・商工会による組織的な取組を期待します。
- ・ 技術士、ITコーディネータの活用。
- ・ 能力を有している指導者は存在する。いかに活かせるかが課題。
- ・ スキルの差が大きい。
- ・ ITコーディネータはいるが、本所への登録制度はなく、各人がどれだけ中小企業に指導を行っているのか把握していない。

(エ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要か。

(上位3つまで複数回答可)

対策項目	回答数
経営者への啓発活動や対策方法の教育	22
従業員への啓発活動や対策方法の教育	15
地域での指導者育成や確保	14
対策費の補助といった支援プログラム	12
その他	1

経営者及び従業員への意識啓発が重要との結果であるが、情報セキュリティへの対応を真剣に考え始められた証だろうか、指導者の育成や支援プログラムの充実も高い回答数があった。

個別意見としては、地域企業及び関連団体における連携体制を強化し、相互に情報交換しながら対応するための仕組みづくりが必要だ、といった意見もあった。

(オ) セミナー参加者の指導者としての活用

対策項目	回答数
商工会議所等主催でセミナー等を開いて講師として活用したい	12
中小企業に指導員がいることを案内して直接指導してもらいたい	11
特になし	2

今回のセミナー参加者には、情報セキュリティの指導員となって各地域で中小企業に対する指導を行なってもらうことを想定しており、講師等の対応機会を確認したところ、中小企業経営者に会場に来てもらいたいという意見は12件で約半数、各企業に指導員として直接訪問してほしいという意見と半々であり、昨年(7件)よりも講師としての活用を考えている会場が増えてきている。また、特になしという回答も2件で昨年(4件)であり、徐々にではあるが情報セキュリティ対策に関する相談を、会場と指導者が一体となって考え始めている状況となった。

(カ) その他の要望事項

- ・ 参加希望者(受講者)が多いので、情報セキュリティ月間にあと1回など、複数回開催することを検討いただきたい。
- ・ 個人でIT企業やパソコン教室を行っている方も多いことから、そのような方に今回のセミナーのような機会が一層活用でき、地域貢献できるような浸透が図られればいい。
- ・ セミナー等に参加する経営者は、それなりに意識があるので、具体的な対策をいかに経営者に届けるか、成功パターンの情報提供がほしい。
- ・ 以前は中小企業応援センターの専門家、派遣事業等でセキュリティ対策を含むIT活用支援が可能であったが事業廃止となっているので、新たな支援策の創設を要望します。
- ・ 例年、情報セキュリティ関連のセミナーを実施しており、多数の方に参加を頂いているが、各地域企業のセキュリティ対策への取組み状況を把握しておらず、企業からの相談もないため、企業側が指導者を必要としているのかなどの、企業の問題点等の情報がないのが現状である。
- ・ 情報セキュリティは情報漏洩、情報保証、一部BCPにも関わる広範囲に亘る問題であるが、この対策を行うことと生産性向上を行うことには相反する点が見られます。この点を中小企業の皆さんに如何に理解していただくか。又、この対策により如何に生産性向上に繋がれるかを、その企業毎に分析し提案できるかが重要なポイントと考えます。
- ・ 大変に良い研修だという評価は多くの受講者から聞いています。しかし現実の中小企業に実施を考えると・場所(会場)が無い!!・セキュリティだけでは客がこないという状況。経営者が喜びそうなテーマと組んでやる必要があります。来年度はその展開をと思っています。今年是一回だけのお手伝いに成りましたが又ご協力させていただければと思います。ありがとうございました。

## 第8章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見

今回の促進事業では、各地の商工会議所及び都道府県中央会と連携を行ったことから、地域での情報セキュリティ対策の促進のために、各地の商工会議所・都道府県中央会が把握している現状についてアンケート調査を行い、今後より効果的な対策を実施するための現状分析を行った。

なお、回答がなかった設問については設問回答数合計が回答総数の121件に満たないものがある。

(ア) 県別の回答状況(回答総数:121件、うち商工会議所107件・中小企業団体中央会14件)

	北海道	北海道
	8	8
商工会議所	8	8
中小企業団体中央会	0	0

	東北	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
	14	1	4	2	1	4	2
商工会議所	13	1	4	2	1	3	2
中小企業団体中央会	1	0	0	0	0	1	0

	関東	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
	37	4	2	4	4	4	7	2
商工会議所	32	4	2	3	3	4	6	2
中小企業団体中央会	5	0	0	1	1	0	1	0

	新潟県	山梨県	長野県	静岡県
	4	1	3	2
	3	1	3	1
	1	0	0	1

	中部	愛知県	岐阜県	三重県	富山県	石川県
	14	4	4	2	3	1
商工会議所	14	4	4	2	3	1
中小企業団体中央会	0	0	0	0	0	0

	近畿	福井県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
	9	0	0	0	6	1	1	1
商工会議所	8	0	0	0	6	1	0	1
中小企業団体中央会	1	0	0	0	0	0	1	0

	中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
	14	2	1	2	3	6
商工会議所	12	1	1	2	2	6
中小企業団体中央会	2	1	0	0	1	0

	四国	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
	5	0	1	4	0
商工会議所	3	0	0	3	0
中小企業団体中央会	2	0	1	1	0

	九州	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
	18	6	1	2	1	3	4	1
商工会議所	16	6	1	1	1	3	3	1
中小企業団体中央会	2	0	0	1	0	0	1	0

	沖縄	沖縄県	不明・その他
	2	2	0
商工会議所	1	1	0
中小企業団体中央会	1	1	0

( 地域の区分は、経済産業局管轄区域に基づく )

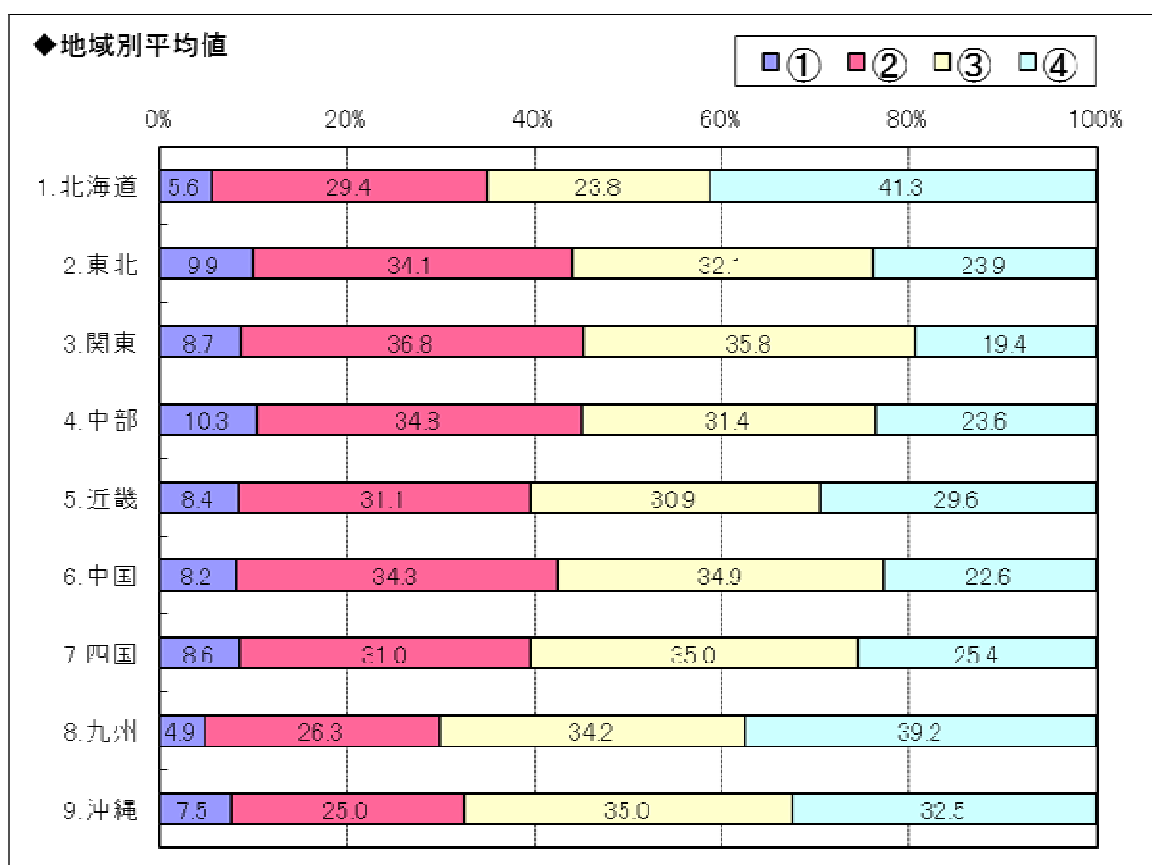
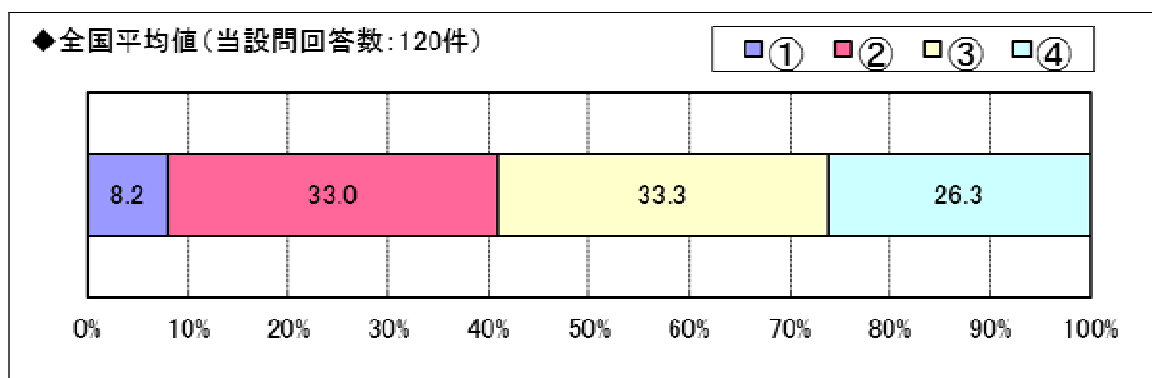
(イ) 傘下中小企業・団体におけるIT活用状況はどの程度だと思うか。傘下中小企業・団体全体を100%と考えた場合、次の4段階のレベルの企業比率を、回答してもらった。

Webショップを構築したり、協力企業間でEDIによる商取引を駆使するなど、ビジネスに十分に活用している。(IT活用度 高)

ホームページによる宣伝や、電子メールでの情報のやり取りを積極的に行っている。(IT活用度 中)

社内の業務システムを中心に利用している。(IT活用度 低)

ほとんど利用していない。(IT活用度 無)



情報セキュリティへの意識及び対策状況には、IT活用の度合いが大きく影響するといえることから、会員企業のIT活用状況を聞いている。

IT活用度 高 とIT活用度 中 の合計で、昨年は約30%であったが、今年の調査では約40%と、IT活用度が上がってきている。

また、昨年まではIT活用度の高い企業比率は、関東・近畿を中心に多い状況であったが、今年は地域間での活用格差は少なくなっているようである。

(ウ) 会員企業(主に中小企業)の情報セキュリティ対策度は、どのレベルにあると思うか。すべての会員企業を100%とした場合、次の4段階のレベルの企業比率を、回答してもらった。

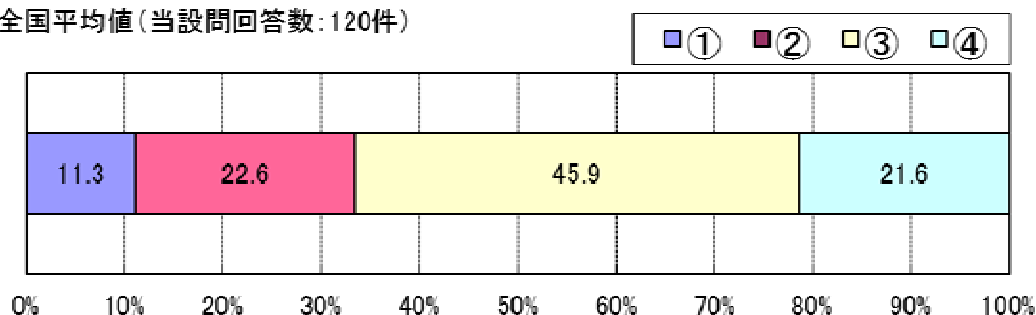
会社全体として対策が実践されると共に、定期的な見直しがされ、適切な運用が行われている。

会社全体で対策は行われているが、定期的な見直しが行われていない。

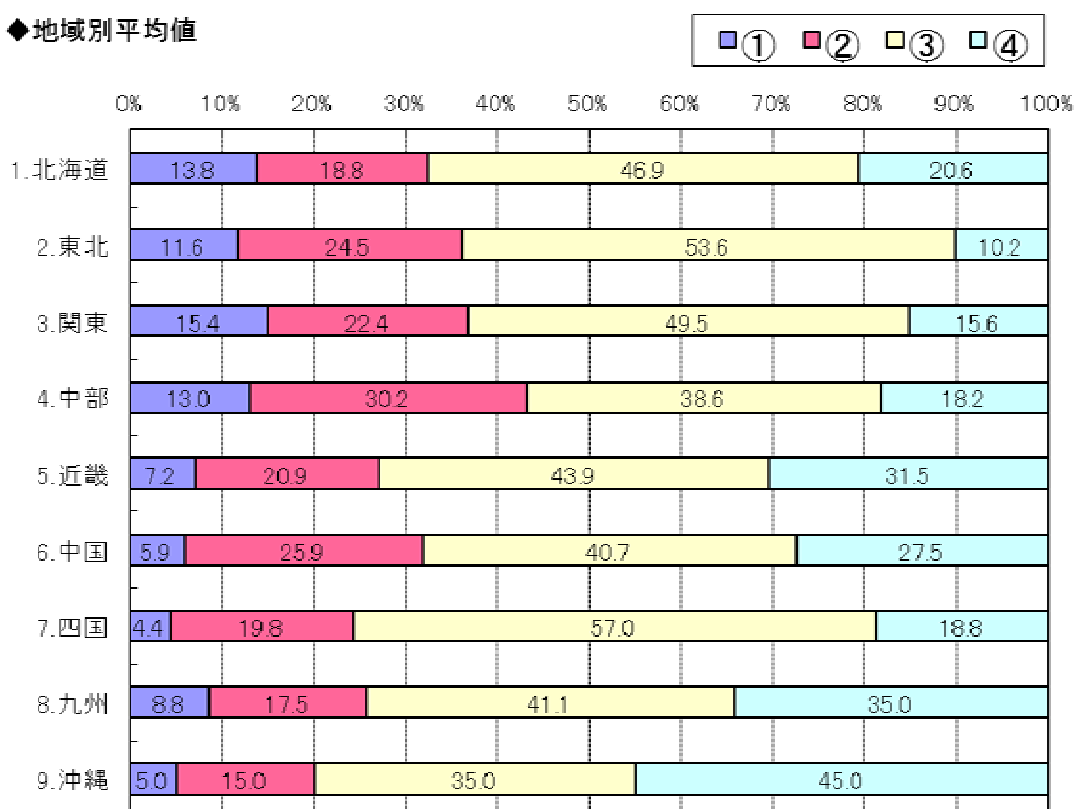
対策は行われているが、ウイルス対策など一部のみであり、会社全体での対策は不十分である。

ほとんど対策が行われていない。

◆全国平均値(当設問回答数:120件)



◆地域別平均値



商工会議所等の地域団体が会員企業との日常の交流から感じている定性的な情報であり、個別の事象を具体的にチェックしたものではないが、おおむね地域間の特性をつかむことができる情報として分析を行った。

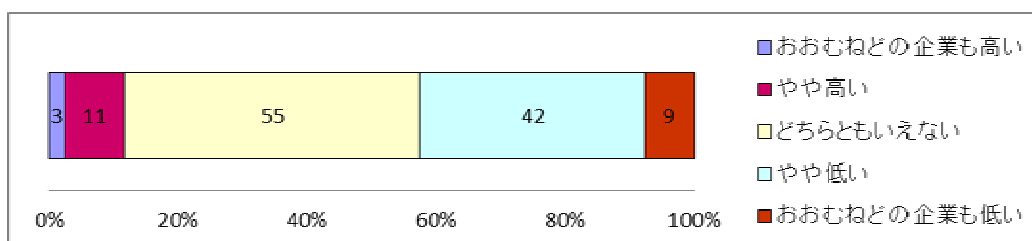
前年までも同項目で調査を行っており、レベル ①が前々年は7.7%、前年は10.3%に対して今年は11.3%になるなど、徐々にではあるが対策度のレベルが上がってきている。全国の地域別対比で見ると、対策は一部あるいはほとんどされていないという回答が多いのは、沖縄が大きく、次いで北海道及び九州であり、特に沖縄は「ほとんど対策が行われていない」が45.0%と対策は全国比では遅れているが、前年が60.0%であったことを考えると、確実に対策されている企業は増えて来ているといえる。



(エ) 傘下中小企業・団体の情報セキュリティ対策の現状を、5段階で一番近いと思われるレベルにチェックしてもらった。

#### 経営者の意識の持ち方や対策のための知識

おおむね どの企業も高い	全般的には 高い	どちらとも いえない	全般的に 低い	おおむね どの企業も低い
3	11	55	42	9



どちらかという低い状況だという意見がデータから見てとれる。

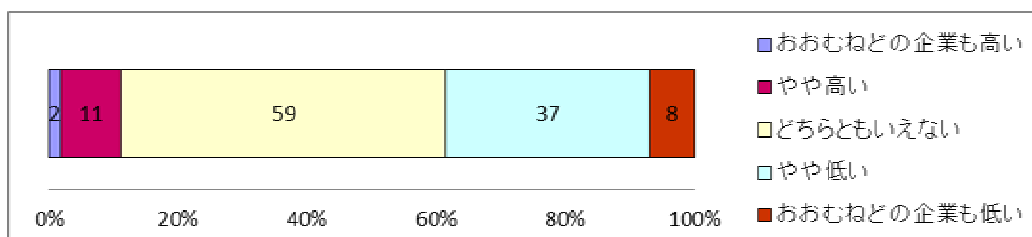
個別の意見としては、意識の高い企業、低い企業の対策格差が大きく、企業規模・業種で、その差は出てきているようだと感じているようである。IT事態の活用度合によって、意識や知識が違ってきているという意見がある。

#### 【自由意見】

- ・ 関心はあるものの高齢者・小規模事業者が多く知識はほとんどない
- ・ 情報の漏えいの危険性に対して、あまり意識していない

#### 従業員の意識の持ち方や対策のための知識

おおむね どの企業も高い	全般的には 高い	どちらとも いえない	全般的に 低い	おおむね どの企業も低い
2	11	59	37	8



おおむね経営層と同等の回答数であり全体的に意識は低く意識格差も大きいですが、個別の意見としては、経営トップの意識に影響を受けているという意見もあった。また、担当者任せになっているという意見もあり、組織内での責任者意識が希薄となっているという課題も見えてくる。

#### 【自由意見】

- ・ トップダウン志向が高い傾向がある
- ・ セキュリティよりも利便性への関心が主となっているのが見受けられる
- ・ 何か問題が起きないと危機管理が生まれにくい状況
- ・ 小規模事業者が多く従業員の意識も低い、規模が大きくても担当者任せになっている

(オ) 地域における指導者的立場の人材の現状  
指導的立場の人材の有無

十分にいます	十分ではないがいます	どちらともいえない	ほとんどいない
1	53	42	24

IT コーディネータが役割を担っているといった意見も出てきており、徐々に地域での指導的立場の確立ができ始めているようだ。反面、得意分野の客観的判断が難しいといった意見もあり、情報セキュリティの広範な知識を網羅的に持った人材確保は、特に地方都市では難しくなっている。また今後は、得意分野を明示的に示すことができる資格や認定などの検討も必要であるかもしれないだろう。

【自由意見】

- ・ ITコーディネータが役割を担っている
- ・ 指導者がいても、教える場が持てない
- ・ 得意分野が異なり、本当に分かっているのか判別が難しい
- ・ 中小・零細企業ではコスト面からIT専従の人員を雇えない。配置できない。
- ・ Web マーケティングの専門家が少ない

指導的立場の人材に期待する指導内容

対策項目	回答数
経営層の意識や体制・ルール作りと言った組織的対応	91
情報システム及び通信ネットワークの運用管理	70
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守	32
建物やPCの管理などの環境的な対応	37
情報セキュリティ上の事故対応	64
企業が知っておくべき関連法令・制度	53
その他	1

指導者に対しては、意識付けやルール作成、関連する法令や制度に関する助言といった内容を期待する声が大い。また、運用管理や事故対応といった部分での期待も上がっており、徐々にIT活用企業が増えることで、情報セキュリティへの意識が高まっている表れといえる。

(カ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要と思うか。いくつかの選択肢を示して、必要と思われる項目を挙げてもらった。(上位3つまで複数回答可)

対策項目	1位	2位	3位
経営者への情報セキュリティ意識に係る啓発活動	62	12	12
経営者への情報セキュリティ対策方法の教育	12	18	9
従業員への情報セキュリティ意識に係る啓発活動	6	28	15
従業員への情報セキュリティ対策方法の教育	8	30	23
市場や顧客からの評価	6	5	7
情報セキュリティに係る技術の向上、ツールの開発	3	3	5
企業内の体制整備	11	15	26
情報セキュリティに係る法制度の整備	0	1	4
地域での指導者育成や確保	4	3	6
対策費の補助といった支援プログラム	9	6	14
その他	0	0	0

まずは前年と同様、経営者への啓発活動が圧倒的多数となった。次いで、従業員への啓発と対策方法の教育という意見が多く、経営者が必要性を知り、従業員が適切な対応を行うことが企業活動では重要と考えられている結果となった。

また、併せて必要となる企業内の体制整備についても、3位に選ばれた中で1番目に意見が多かった。対策の実施にはシステムを含めて多彩な知識が必要になるが、中小企業の多くはシステム部門を持っておらず、他の業務との兼務が多く、情報セキュリティに専従できないことから、企業内の理解をもらえる体制を整える事が必要だという認識があることがうかがえる。

(キ) 今年度の情報セキュリティ指導者育成セミナーと今後の実施に関する意見を伺った。

本セミナーについてご存知でしたか。

はい	いいえ
63	58

本セミナーの認知度は半々という結果であった。できれば 100%近い認知度にはしたかったところだが、今年度の開催団体が 22 カ所ということと、すべての対象団体に直接参加要請を行ってはいない状況から考えると致し方ない結果であろう。ITコーディネータの地域団体との協力で、会場を商工会議所等を利用し、運営を地域のNPOなどという体制が構築できつつあることから、より一層関係団体の連携体制を作っていく必要があるだろう。

今後も、積極的に実施したほうが良いと思われますか。

ぜひ必要	どちらかといえば必要	どちらともいえない	あまり必要ない	必要ない
25	53	36	5	1

おおむね実施には賛成が多く、必要はないだろうとの意見は非常に少ない結果となった。特に地域の人口規模に比例することなく、団体ごとの担当者意識によるところが大きそうである。

#### 本セミナーの参加率を高めるための意見やアイデア

実施方法について、情報セキュリティだけではなく、IT全般の総合的なセミナーの1コマにするなどして、事業ですぐに活用できる内容とする。セミナー内容について、もっと具体事例を用いて事故対応事例を紹介したり、あるいは対策をすることでより事業メリットがあるといった内容とするという意見をいただいた。

また開催地についても、遠方では参加しづらいということから、特に大都市だけでなく、中小規模の都市での開催を検討してはどうかという意見もいただいた。

PR方法については、各団体への直接的な勧奨や、マスコミとのタイアップなどで広くPRしてもいいのではないかという意見もあった。

貴団体での実施を希望、または実施依頼をすれば検討いただけますか？

ぜひ希望する	依頼があれば検討する	実施は難しい
5	53	60

前々項の質問では実施に対してはおおむね賛成であったが、自団体での実施は難しいとする意見が相当数出てきており、総論賛成各論反対という状況となっている。特に参加者募集に不安を抱いているという意見が多く、地域で運営する事務局的存在として地域ITC団体との連携など、安心して会場提供いただける環境作りも必要であろう。

- (ク) 会員企業向けにIT化促進支援事業(出来れば、情報セキュリティ対策に関連)として、活動されている主なものを自由記述してもらった。

活動内容	回答数
IT セミナー、パソコン教室	19
パソコン出張サービス、巡回指導	6
情報セキュリティセミナー(IPA 含む)	6
経営講習会	3
IT無料相談	7
ホームページ作成支援	5
会報等による啓蒙周知	4

- (ケ) 会員向けに情報セキュリティ対策を行う際に、現時点で指導者の立場として応援を求める方がいるかどうかを、選択肢から選んでもらった。(複数回答可)

対象者	回答数
ITコーディネータ	74
中小企業診断士	33
EC実践研修認定講師	8
日商マスター	5
公認会計士、税理士などの財務専門家	5
弁護士、司法書士などの法務専門家	9
貴組織内の相談員	27
民間のITベンダー	1
その他	4
誰もいない	5

- ( ) その他の内容の主な対象者
- ・ エキスパート登録人材
  - ・ 地域内における専門業者
  - ・ パソコン教室のインストラクター
  - ・ 会員事業所

(コ) その他のご要望事項

- ・ 情報セキュリティ対策の活動はどうしても投資額がいくらかを先に考えてしまうため、必要最低限の施策に限定してしまう。施策を否定する方はいないが、積極的に推進する意見を持つ方が少ないのが実態のため、育成セミナー等により、水平展開を図る必要がある。
- ・ 情報セキュリティという言葉は、イメージしにくいのかセミナー等に人を集めるのは難しいので、何かもう少しわかりやすい言葉や、興味を持って頂けるような適切なサブタイトルがあれば良いと思う。
- ・ 指導的立場にある専門家等でも、十分な知識を持ち合わせていない人がいるので、徹底してほしい。また、専門知識だけでなく、一般常識としてある程度の知識を持ち合わせてほしい。
- ・ 情報セキュリティの強化を各企業が望まれても、指導員の有無や知識がない等問題があるため、指導者育成セミナーを積極的に実施して頂きたい

## 第9章 担当講師からの意見

今回の指導者育成セミナーを担当した当協会所属の講師から、実施した側としてどのような効果があったのか、あるいは課題としては何があると考えているかの意見を求めた。

討議形式で行ったものの概要を、テーマ別に以下に記しておき今後の参考意見としたい。

### (ア) セミナー講師の育成方法

- ・ 演習形式の場合には、リハーサルを十分に行う必要がある。
- ・ 講師研修の時期を早くし、確実にリハーサルを行えるようにする。
- ・ 特にインシデントレスポンスは、経験が豊富でないと難しかったかもしれない。
- ・ 講義の質の均一化と、講師としての技量をバランスよく上げていく必要がある。
- ・ 講師を判定するようなものがあれば良いが今後の検討課題。

### (イ) セミナー参加者のスキルレベル

- ・ 参加者のスキルがバラバラであったが、セミナーのスムーズさを考えるとレベルごとに集めることも検討してほしい。
- ・ 色々なレベルの参加者がいるのは、意識向上の意味でも良い傾向ではないかと思う。
- ・ 知識や指導経験がない参加者では、すぐに地域での指導者として活動するのは難しいのではないかと思う。

### (ウ) セミナー内容

- ・ 中小企業の事業継続性を具体的に示すなどで、ビジネスへのインパクトを明確に伝えることができたほうがいい。
- ・ テキストや資料に記載していない講師オリジナルの話題を提供するための、講師用ノートもあると良い。
- ・ 事例や最低限やらなければいけないことの明示ができるとよかった。
- ・ PDCA サイクルのようなものも教えて行く必要がある。
- ・ 事業趣旨に沿って、参加者の目的を明確にしてあげる工夫は必要。
- ・ コンテンツは良くできていた、受講者の立場に立った内容だったので評価が高かったと思う。

### (エ) 想定する企業規模

- ・ ビデオは小企業、インシデントレスポンスは中企業というイメージで、統一感が少なかったかもしれない。
- ・ ビデオ作成時点でも中小企業の設定についてかなり議論を行い、結果として30名以下とした。企業規模に限らず、30名くらいが一つのユニット単位となるとの見方。
- ・ セミナー受講者が実施した講習会でも、50名以下が半数以上を占めることから、想定規模はちょうどよかったのではないか。

### (オ) 配布資料

- ・ ビデオの評判はすこぶる良い。講習会でも活用度合は一番高い。
- ・ 演習の資料も使いやすいという意見が多かった。
- ・ 受講者用テキストも3300部印刷しほぼ配布した。こちらも講習会での評判は非常によく、中小企業の層に合っているとの評価。
- ・ セミナー受講者が実施した講習会を参考にして、対象企業や内容を考えるのが事業の本質に合っていそうである。

## 第 10 章 地域での講習会の開催

指導者育成セミナー受講者が、実際に指導者として各地の中小企業の経営層の方々に対する「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施してもらうことで、本事業の目的とする中小企業経営者への指導者としての経験を積んでもらうこととした。

対象とする講習会は、2011 年 2 月末までに開催し、10 名以上に対して最低 2 時間を実施。中小企業の企業内の情報セキュリティ対策を行う経営者等に対して、講習用テキストの内容に基づいて、講習を行うこととした。

また、講習会を実施する指導者として、地域の中小企業に広くお知らせするため、指導者氏名等(希望内容のみ)を本促進事業のホームページに掲載した。

< 指導者のご紹介ページ >

<http://www.jnsa.org/ikusei/seminar/instructor.html>

講習会を開催した際に、参加した受講者からアンケートを収集するとともに、開催状況を当協会に報告してもらっており、実施された講習会の実施状況等を以下に記載する。

なお、アンケートは報告書提出数 58 回分の分析となる。

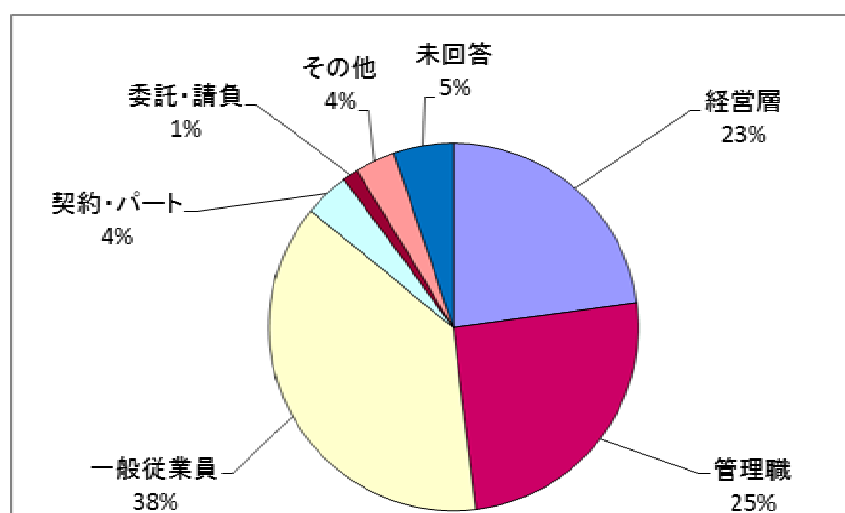
(ア) 開催回数……………95 回(うち報告書あり 58 回)

前年度よりも 1 か月ほどセミナー開催期間が長くなり、講習会開催の機関に余裕ができたこともあるが、前年度の報告書提出数 43 回を大きく上回り、指導者として活動してもらう機会が多くなっている。

(イ) 受講者……………889 名

役職階層別内訳		受講者数
経営層		200
管理職		221
一般従業員		331
契約・パート		35
委託・請負		12
その他		31
未回答		59
合計		889
再掲： システム部門	専任	81
	兼務	220

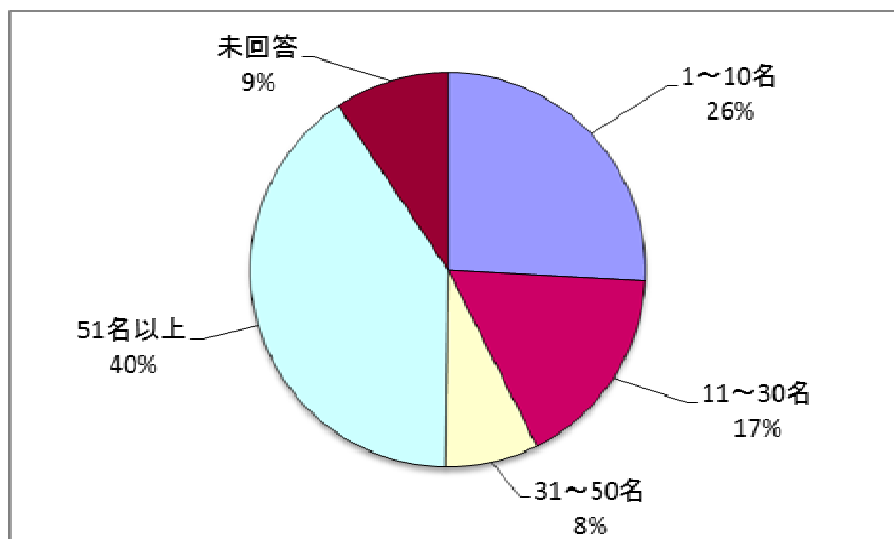
受講者の 889 名は、事務局で報告を受け把握している人数であり、独自の講習会を含めると、さらに 200～300 名増えると予測される。





(ウ) 参加者の属する組織の従業員数

従業員数	回答数
1～10名	227
11～30名	146
31～50名	67
51名以上	354
未回答	95
合計	889



(エ) 講習時間数: 平均 2.6 時間

1 回あたりの講習時間は、2 時間を最短時間として実施をお願いしたが、平均で 2.6 時間となり、実際には 3 時間を超える講習も 21 回と 3 割以上の実施であった。演習を実施する場合には、3 時間程度の時間を使い基礎的な知識を与えたうえで演習を行うことで、より理解が深まる講習となるといえる。

(オ) 講習内容

回答項目	回答数
ビデオ演習	48
インシデント演習	11
テキスト講習	43
その他	27

ビデオは企業規模や対象業種がイメージしやすいという高い評価とともに、リスクアセスメントの演習は多く取り入れられ、リスクの発見と対策案の検討は実施しやすいという意見が多かった。

対して、インシデントレスポンス演習は 11 件と思ったほどの活用数とはならなかった。これは、インシデントレスポンスそのものが中小企業では発生可能性が低いということと、前提となる知識が幅広く高度な内容も出てくるために、すぐに実施をしなかったようである。ただし、インシデント事例を紹介するといったことは必要という意見が多く挙がっており、講習で活用できる演習方法への見直しを検討する必要がある。

(カ) アンケート集計結果

◇ 講習内容について

1. 講義全体

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
355	313	182	15	2

2. 難易度

簡単	やや簡単	ちょうど良い	やや難しい	難しい
144	186	466	65	8

3. 理解度

理解できた	ほぼ理解できた	普通	やや理解できなかった	理解できなかった
343	310	186	23	4

4. 進行の早さ

早い	やや早い	ちょうど良い	やや遅い	遅い
27	146	650	34	8

5. 時間数

短い	やや短い	ちょうど良い	やや長い	長い
52	142	575	75	13

6. この講習を他者に紹介したいか

ぜひ紹介したい	紹介したい	どちらでもない	あまり紹介したくない	紹介したくない
108	414	315	13	4

講師ごとに同じ講習内容で行ったわけではないため単純比較は難しいが、おおむね好評というアンケート結果となった。

特に、ビデオ演習についてはディスカッションによる情報の共有が有効だとの評価が多かった。

また、テキストの評価は依然として高く、持ち帰って再読したいという意見も記載されている。時間数も、ほとんどの講習が2～3時間で行われており、ちょうど良いという意見が多くを占めた。テキストによる座学や、ビデオ演習、インシデントレスポンス演習と、様々な形式での実施がされており、内容ごとのタイムテーブルがあると指導者の助けになるのではと感じるところである。

◇ 講師について

1. 指導内容

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
445	275	133	11	1

2. 質問への対応

適切	ほぼ適切	普通	やや不適切	不適切
378	234	195	5	1

講師に対する評価は、主催者としては直接関与できないだけに不安があったが、全体に高評価をもらっているようであり、指導者育成の目的はそれだけで果たせたといえるのではなかろうか。

「演習中心でよかった」、「具体的な例を出してもらえたのが良かった」といった講師に対する評価が高く、また「知人の経営者にも聞かせたい内容です」といった、口コミによる横の広がりを感じさせる意見も記載されていた。

◇ テキストについて(難易度)

簡単	やや簡単	ちょうど良い	やや難しい	難しい
59	117	478	36	2

今年度は、ビデオ演習のほか、前年度のテキストを使った座学も対象とした。今年度の事業を行うに当たって、前年度の意見から講師として対策事例や具体策を知りたいという要望があったため、講師用マニュアルのポイント解説部分に、データや事例を追記して作成した。

情報セキュリティ知識は非常に広範で、なおかつ奥も深いだけでなく、日々状況が変わるため、テキストに記載する範囲と粒度については大変苦心したところである。結果、講師としては非常に使いやすいだけでなく、中小企業で知っておくべき内容となっているという評価が多くいただけた。さらに多くの最新技術や事例、インシデントの動向など、中小企業の知識レベルの向上に伴って、見直しを行っていく必要がある。

◇ 今回の講習会を受けて、情報セキュリティ対策を適切に実施できそうですか？

自信がついた	やや自信がついた	何とかできそう	やや不安	不安
144	228	351	106	13

まずは実行できるところからやってみようという気持ちを持ってもらったという意見が多く、今後はPマーク取得に向けて活動というところもあるようだ。

ルール設計及び徹底については、もう少しサポートが必要という意見もあり、具体的な活動を行うほど、さらなる学習が必要と気づいてもらえたようだ。

幅広い知識が必要との認識で、さらに多方面への学習を進めてもらいながら、適切な対策をとってもらうことを期待する。

◇ 情報セキュリティ対策レベルを向上させるために解決が必要だと考えている問題

選択項目	1位	2位	3位
経営層の意識や体制・ルール作りといった組織的な問題 (人的・組織的対応)	515	87	67
建物や PC の管理などの物理的(環境的)な対策の問題 (物理的対応)	91	222	179
情報システム及び通信ネットワークの運用管理の問題 (システムの対応)	71	252	236
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守 に関する問題(システムの対応)	50	152	167
情報セキュリティ上の事故対応状況に関する問題 (事業継続対応)	106	110	147
その他	6	4	5

1 位は体制そのものの構築を望む声が圧倒的多数となった。2 位・3 位でシステムの・物理的対応を行う必要性を感じている。事業継続性の問題にも注目をし始めているようであり、クラウド活用などが現実味を帯びてきていることが背景にあるとも考えられる。

◇ 情報セキュリティに関する相談者の現状

1. 相談をできる方の有無

いる	いない
447	384

2. 1.で「いる」とお答えの方の相談する方

対象者	回答数
ITコーディネータ	193
中小企業診断士	30
EC実践研修認定講師	5
日商マスター	1
財務専門家	25
法務専門家	23
商工会議所・中央会等	32
その他	171

3. 1.で「いない」とお答えの方の相談する方の必要性

必要	不要	どちらとも いえない
201	36	128

相談する対象者がいる者は 53%にとどまり、半数近くは誰にも相談できないでいる現状が数値化された。このため、実際のインシデント発生時に相談する者が情報セキュリティの正しい知識と対応方法を知っている者ではない可能性が高いこととなる。

なおかつ、相談するものがないと答えたもののうち、必要だと感じているものは約半数しかない。

地域での指導者育成と、適切な指導者の必要性認知を進めていく必要がある。

(キ) 講師意見

指導者として実際に講習会を実施してもらったうえで感じたことを答えてもらったが、経営者への意識付けと、同様の講習会を地域ごとに継続実施をしていくことの、大きく2点を重要視するという意見が多くあった。

徐々にIT活用も進み、情報セキュリティへの意識も高まってきたとはいえ、特に経営者自身がこのような講習会に参加することはまれであり、まずは経営者に意識付けをして、講習会に参加してもらうことから始めたい、という意見である。

(ク) 事務局特記事項

今年度のセミナー受講者による講習会に対して、実施状況の把握のために事務局から3回ほど参加させてもらった。

これから見えてきたこととしては、セミナー受講者による講習会については、主催者による講師研修を徹底するなどできないため、講師の経験や知識といった力量に左右されるところが大きい。また、講習会参加者のレベルによっても伝えることのできる知識や情報に差が出てくるといえる。

このため、受講者による講習会のためには、難易度や内容ごとのプログラム、あるいは講師用マニュアルやタイムテーブルを用意して提供する必要があるそうである。

また、難易度の高い講習プログラムについては、「受講者による講習会をお願いできる講師資格・評価」の必要についても検討する必要があるのかも知れない。

## 第 11 章 まとめ

中小企業情報セキュリティ対策促進事業として、中小企業を直接指導する立場の商工会議所、商工会、EC実践講師、中小企業診断士、ITコーディネータ、中小企業を指導する立場にある方々等に対して情報セキュリティの指導に関する基礎知識を習得してもらい、適切な対策のための指導ができるようになってもらうことを目的とした「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を全国22都道府県で全25回開催することが出来た。約5ヶ月という短い期間で開催したにも関わらず、参加人数は1,120名を数え、予定した会場すべてで無事開催することができた。これもひとえに経済産業省を始め、日本商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会、さらには地域のNPOなど多くの関係機関の皆様の協力の賜物である。

事業としては3年度目ということで、事業主旨はもとより前年実施した際の成果や課題を基に、様々な事業内容の検討機会を設け、中小企業の経営者に対して指導者となった方々がより効果的に指導が行えるセミナーを考えて実施にこぎつけた。

今年度は、情報セキュリティの知識重視であった初年度目、簡単な対策検討を実施した2年度目とは大きく内容を変え、中小企業への指導方法や適切な情報共有の手法としての、演習を中心としたセミナーとした。グループでの討議という演習を行うセミナーとしたため、開始当初は計画した内容で成果が上がるのかという不安もあったことは事実であるが、商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会及び各地の関連団体が協力し合って、中小企業を始めとする地域の情報セキュリティ対策を考え、より良くしていくことができた。

また、前年度に引き続き、実際に受講いただいた参加者が指導者となって、地域企業を対象に講習会を行ってもらうことで、中小企業の経営者への情報セキュリティ対策の重要性への気づきを与えることが出来たことは、本事業主旨に沿った結果として大きな成果であった。

もちろん実際に講習会を実施してもらうことで指導のための手法に関する課題がより鮮明になってきたことは事実であり、さらには指導者となったセミナー受講者が継続的に講習会開催や相談を受けていける仕組みは必要だと考える。これら課題を踏まえて、より企業経営に沿った地域の拠点としての商工会議所、都道府県中央会、中小企業診断士、ITコーディネータを始めとする指導的立場の人材を巻き込んだ対策が必要と感じたところである。

各地での参加者や会場となっていた商工会議所、商工会、都道府県中央会の皆様から、今後に向けての貴重なご意見もたくさんいただいております、さらなるセミナーの実施や、地域での支援施策を期待していただいている。この中には、指導者向け教育だけではなく、中小企業の経営者や従業員の啓発についても並行して、あるいは合同で行うことが、更なる大きな効果が期待できると考えられてもいる。このような活動には、全国で行われている「インターネット安全教室」などもあるため、今後はより関連性を検討して事業の効果向上に努めていきたい。

来年度は、このような様々な課題を認識し、効果を意識しながら、全都道府県での多くの開催を実現することにより、更に多くの中小企業に対して「情報セキュリティ」の本質を知ってもらい、効果的な対策を行ってもらいたい。

最後になるが、中小企業情報セキュリティ対策促進事業の目標を実現するためには、我々事業を実施する側からのアプローチだけではなく、地域の拠点としての商工会議所や都道府県中央会等、あるいはITコーディネータや中小企業診断士を始めとする指導的人材、中小企業の経営者・従業員の企業側の人材のそれぞれの組織・立場の方たちが目的を明確にして、力を合わせた活動にしていくことが重要であろう。関係各位の更なるご協力・ご支援をお願いする次第である。





平成23年3月発行  
発行：特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会  
東京都港区西新橋 1-22-12 JC ビル3F  
E-mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

「中小企業情報セキュリティ対策促進事業」は経済産業省の委託事業であり、  
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)が実施しています。  
<http://www.jnsa.org/ikusei/>